

令和2年度用「小学社会6」（第6学年） 年間指導計画作成資料（案）

令和2年5月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- この案では、学習指導要領の定める第6学年の総時数105時間のうち、16.5時間を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として示しています。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 単元ごとの配當時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

令和2年度版『小学社会 6』年間指導計画・評価計画(案)

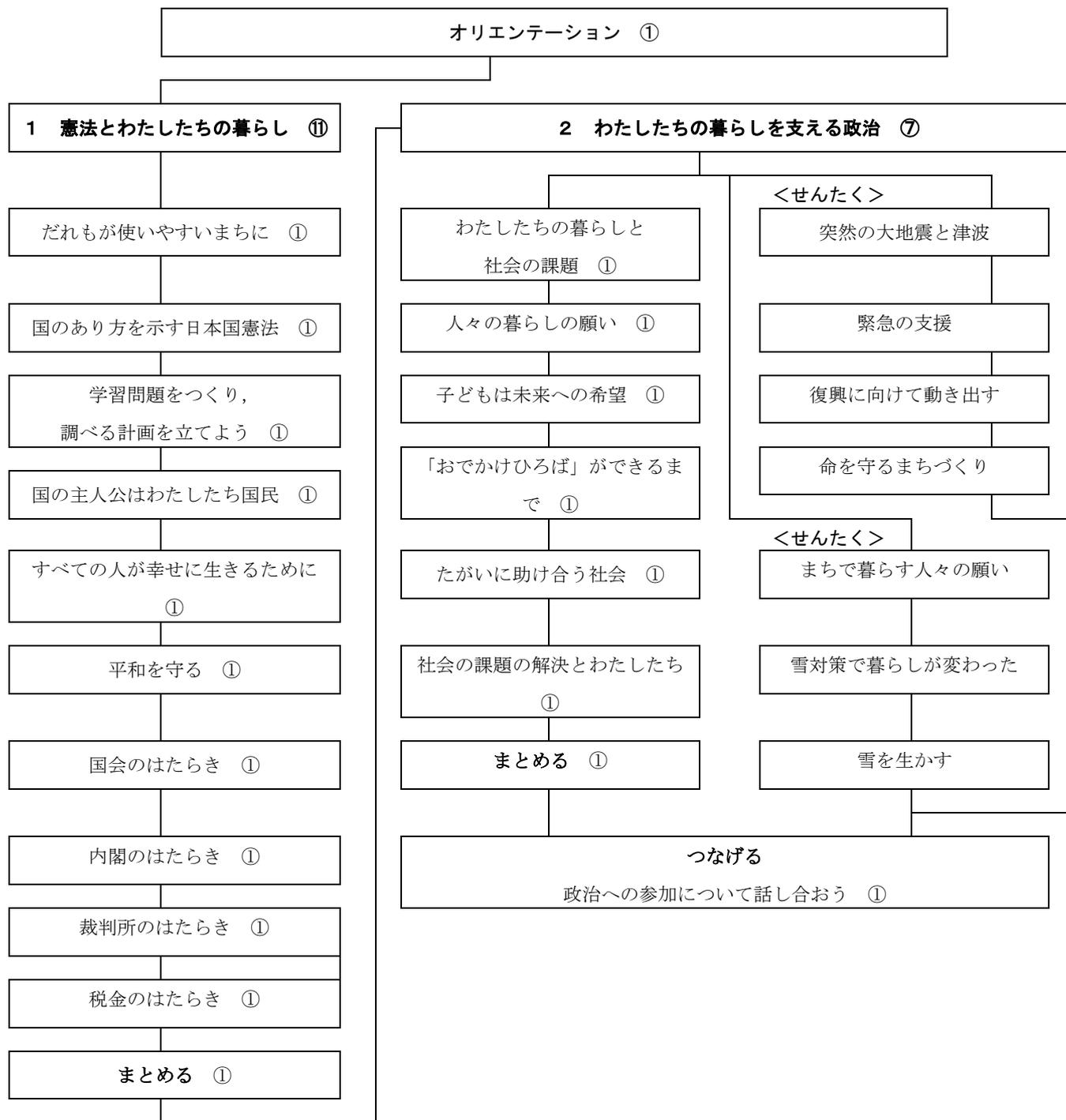
大単元 1	ともに生きる暮らしと政治	配当時間 20 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)</small>	教科書 6 P6～61
-------	--------------	---	------------------------------

目 標

- 日本の政治の考え方と働きについて理解するとともに、統計などの各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日本国憲法の考え方や日本の政治の特色と国民生活との関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を考え、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本の政治の考え方と働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の将来を担う国民としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の日本の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 ・国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 ・見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本的な考え方に着目して，日本の民主政治を捉え，日本国憲法が国民生活に果たす役割や，国会，内閣，裁判所と国民との関わりを考え，表現している。 ・政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の考え方に基づく国のあり方や政治の仕組みについて，主体的に問題解決しようとしたり，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



○の中の数字は、配當時

小単元 1	憲法とわたしたちの暮らし	配当時間 11 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間)</small>	教科書 6 P6～31
-------	--------------	---	------------------------------

目 標

- 日本国憲法の考え方と憲法に基づく政治の働きについて理解するとともに、統計などの各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日本国憲法の考え方や憲法に基づく政治の特色、国民生活との関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて考える力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本国憲法の考え方と憲法に基づく政治の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本的な考え方について見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、日本の民主政治について理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法が国家や国民生活の基本を示していることや政治は憲法の基本的な考え方に基づいており、立法、行政、司法がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見いだし、日本国憲法と政治や国民生活とのつながりについて考え、表現している。 ・日本国憲法の考え方や国会、内閣、裁判所と国民生活を関連付けて、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の考え方に基づく国のあり方や政治の仕組みについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとしている。

大単元名：1 とともに生きる暮らしと政治

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>オリエンテーション オリンピック・パラリンピックから学ぶ P6～9 【配時 1】</p>	<p>オリンピックやパラリンピックの歴史や開催地、参加している選手の思いについて調べ、その意義を考え、表現する。</p>	<p>○資料からオリンピック・パラリンピックの意義を話し合い、平和な世界の実現がオリンピックの理念となっている意義や多様な人々が活躍する社会について考える。</p>	<p>①写真や資料を見て、オリンピック・パラリンピックの理念をつかむ。 ②地図や年表を見て、気づいたことを話し合う。 ③「ウィルチェアーラグビーの選手である官野一彦さんの話」から多様な人たちが活躍する社会について考える。</p>	

小単元：1 憲法とわたしたちの暮らし 【配当 11 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
だれもが使いやすいまちに P10～11 【配時 1】	公共施設のバリアフリー設備を調べ、日本国憲法や法律の役割を考え、表現する。	○公共施設のバリアフリー設備について調べ、それらを整備する根拠となっている日本国憲法について考える。 ◆公共施設は、さまざまな人が使いやすいようにつくられており、それは、日本国憲法の考え方に基づく法律に従って行われていること。	①「官野さんの話」から公共施設は誰もが利用しやすいように、設備が整えられていることに気づく。 ②公共施設のバリアフリー設備の整備の根拠となる法律は、日本国憲法の考え方に基づいていることを捉える。 ③日本国憲法が自分たちの暮らしと関係していることについて考える。	
国のあり方を示す日本国憲法 P12～13 【配時 1】	日本国憲法前文を読み取り、憲法の基本的な考え方を考え、表現する。	○日本国憲法とはどのようなものかを調べ、日本国憲法前文を読み取り、三つの原則について考える。 ◆日本国憲法には、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の三つの原則があること。	①日本国憲法とはどのようなものかを調べる。 ②日本国憲法前文の中から、憲法の基本的な考え方につながる部分を読み取る。 ③日本国憲法前文から読み取ったことについて話し合う。	
学習問題をつくり、調べる計画を立てよう P14～15 【配時 1】	日本国憲法の三原則に着目して、憲法と暮らしとのつながりについての学習問題をつくり学習の見通しを立てる。	○日本国憲法の考え方と暮らしとのつながりについて話し合い、日本国憲法はどのようなものかについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。	①日本国憲法の三原則と暮らしとのつながりについて話し合い、学習問題をつくる。	
学習問題 日本国憲法は、どのようなものなのだろう。				
			②学習問題に対する予想を出し合う。 ③予想をもとに、学習問題を解決していくための方法（調べること・調べ方・まとめ方）について見通しをもつ。	
国の主人公はわたしたち国民 P16～17 【配時 1】	国民主権や天皇の地位と役割について調べ、日本の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを捉える。	○国民主権の意味や内容、天皇の地位と役割について調べ、国民主権と国民のつながりについて考える。 ◆国の政治のあり方を決めるのは国民で、選挙権は国民主権の代表的な例であること。天皇は日本国の象徴であり、政治についての権限はもたないこと。	①選挙権や不在者投票、期日前投票の制度を事例に、国民主権の意味と具体的な内容を調べる。 ②天皇の地位や役割について調べる。 ③国民主権と国民とのつながりについて考える。	

<p>すべての人が 幸せに生きるた めに P18～19 【配時 1】</p>	<p>基本的人権について調べ、日本国憲法が暮らしに関わる国民としての権利や義務などを定めていることを捉える。</p>	<p>○基本的人権の意味や内容を調べ、基本的人権がどのように守られているかを考え、話し合う。 ◆日本国憲法には、すべての国民は健康で文化的な生活を送る権利があることがうたわれていること。</p>	<p>①憲法の条文から、基本的人権の意味を調べる。 ②国民の権利と義務について調べ、暮らしとのつながりについて考える。 ③社会の中の諸問題を調べ、基本的人権がどのように守られているか話し合い、考えたことをまとめる。</p>	
<p>平和を守る P20～21 【配時 1】</p>	<p>平和主義について調べ、日本国憲法が過去の歴史的背景から、決して外国と戦争をしないと定めている意味を捉える。</p>	<p>○平和主義の背景や内容を調べ、平和を守るために大切なことを話し合う。 ◆日本国憲法は、平和主義をかかげ、外国と決して戦争をしないこと、そのための武力をもたないことを定めていること。</p>	<p>①憲法の条文や教科書から、平和主義の背景や内容を調べる。 ②平和を守るための取り組みを調べ、平和を守るために大切なことを話し合う。</p>	
<p>国会のはたらき P22～23 【配時 1】</p>	<p>国会や選挙の仕組みを調べ、その役割を捉える。</p>	<p>○国会の働きや選挙の仕組みについて調べ、その役割について考える。 ◆国会は、国民の暮らしにかかわる法律や予算について話し合い決めていることや、国民が選挙によって国会議員を選ぶことで、国民の考えを政治に反映させていること。</p>	<p>①国会の役割や法律ができるまでの流れを調べ、二つの議院で話し合う理由を考える。 ②選挙の仕組みを調べ、選挙を行う理由を考える。 ③国会の働きと国民の暮らしがどのように関わっているのかを話し合う。</p>	
<p>内閣のはたらき P24～25 【配時 1】</p>	<p>内閣の仕組みを調べ、その役割を捉える。</p>	<p>○内閣の仕組みや働きについて調べ、その役割について考える。 ◆内閣は、国会で決めた予算を使って、国民の暮らしを支える仕事をしていることや、内閣のもとには、さまざまな府・省・庁が置かれ、分担して仕事を進めていること。</p>	<p>①内閣の主な仕事や仕組みを調べる。 ②主な府・省・庁の働きを調べる。 ③内閣の働きと国民の暮らしがどのように関わっているのかを考える。</p>	

<p>裁判所のはたらき P26～27 【配時 1】</p>	<p>裁判所の仕組みを調べ、その役割や、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを捉える。</p>	<p>○裁判所の仕組みや働き、裁判員制度や三権分立について調べ、その役割や意義について考える。 ◆裁判所は、争いごとや犯罪が起きたときに解決や判断をしていることや、国民は裁判員制度を通して裁判に参加していること。国の政治は、三権分立の仕組みのもとで進められていること。</p>	<p>①裁判所の仕組みや働きを調べる。 ②裁判員制度について調べる。 ③三権分立について調べ、図に整理する。</p>	
<p>税金のはたらき P28～29 【配時 1】</p>	<p>税金の集められ方や使われ方を調べ、税金の果たす役割や暮らしとの関わりを捉える。</p>	<p>○税金の集められ方や使われ方を調べ、税金の果たす役割について考える。 ◆市区町村・都道府県・国が行う公共的な仕事には、国民が納める税金が使われていることや、健康で文化的な生活を送るために、税金を納めることは国民の義務であること。</p>	<p>①税金がどのように集められ、どのようなことに使われているのかを調べる。 ②税金と国民の関わりについて話し合う。 ③税金の役割について考え、表現する。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、次時(①～④)の学習活動について説明をする。</p>
<p><まとめる> P30～31 【配時 1】</p>	<p>日本国憲法の基本的な考え方や政治の仕組みについて調べたことを図表などにまとめ、日本国憲法と政治や国民の暮らしとのつながりについて考え、表現する。</p>	<p>○学習してきた日本国憲法の考え方や政治のはたらきについてまとめ、国民の暮らしと憲法や政治との関わりについて考える。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②日本国憲法の考え方や政治の働きについてまとめる。 ③暮らしと政治のつながりや三権分立の仕組みについて図に整理する。 ④国民と政治の関わり方について考える。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、日本国憲法の考え方や政治のはたらき、国民の暮らしと憲法や政治との関わりについて、わかったことや考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1時間】 ※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 2	わたしたちの暮らしを支える政治	配当時間 7 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2 時間)</small>	教科書 6 P32～45
-------	-----------------	--	-------------------------------

目 標

- 地方公共団体の政治の働きについて理解するとともに、統計などの各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地方公共団体の政治の特色や生活との関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を考え、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 地方自治体の政治の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の将来を担う国民としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて見学・調査したり統計などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地方公共団体の政治の働きについて理解している。 ・ 調べたことを図表や文などにまとめ、地方公共団体の政治が国民主権の考えのもと、住民の生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問を見だし、政治と生活とのつながりについて考え、表現している。 ・ 政治の取り組みと住民の生活を関連付け、地方公共団体の政治の働きや政治と住民の関わりを考え、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・ 学習したことをもとに、国民としての政治の関わり方について多角的に考えようとしている。

小単元名：2 わたしたちの暮らしを支える政治 【配当7時間】

※「わたしたちの暮らしを支える政治」が「災害からわたしたちを守る政治」または「雪とともに生きる暮らしを支える政治」を選択

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
わたしたちの暮らしと社会の課題 P32～33 【配時1】	家族の様子や人口構成の変化を調べ、少子化や高齢化によって暮らしが変化していくことを考え、表現する。	○資料から家族構成や人口構成の変化を読み取り、核家族化や少子化・高齢化、人口減少が進むことで社会はどのように変わるのかを考える。 ◆現代の日本は、以前に比べて核家族化が進んでいること。今後、さらに少子化・高齢化が進み、人口減少社会を迎えると考えられること。	①昔の家族の写真を見て、現代との違いや共通点を話し合う。 ②生まれた子どもの数と、人口に占める65才以上の高齢者の割合のグラフを見て、考えたことを話し合う。 ③写真や文章から、自分たちの生活がどのように変化しているのかを考える。	
人々の暮らしの願い P34～35 【配時1】	身近な地域の様子や住民たちの願いに着目して、人々の願いをかなえるための政治の働きについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○世田谷区の人口やまちの様子、さまざまな人々の願いを読み取り、願いを実現する政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆住民はさまざまな願いをもっていること。願いの実現や社会の問題の解決のために政治の働きが関わっていること。	①世田谷区がどのようなところなのかを調べる。 ②世田谷区に住む人々がどのようなことを願っているのかを調べる。 ③住民の願いをかなえ、社会の問題を解決する政治の働きについて、学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題 人々の願いをかなえ、社会の課題を解決するために、 政治はどのようなはたらきをしているのだろう。</p> </div>				
子どもは未来への希望 P36～37 【配時1】	住民の子育てへの願いを調べ、住民の願いをかなえる政治の働きを捉える。	○世田谷区が行っている子育て支援の取り組みについて調べ、それらがつくられた目的について考える。 ◆世田谷区では、条例や計画に基づいてさまざまな子育て支援の取り組みが進められていることや、それが住民の願いをかなえ、悩みや不安を解消することに役立っていること。	①世田谷区が行っている子育て支援の取り組みと「世田谷区子ども条例」との関わりを調べる。 ②「おでかけひろば」で働く人の思いや、利用者の声を調べる。 ③人々の願いと政治の働きとのつながりについて話し合う。	

<p>「おでかけひろば」ができるまで P38～39 【配時 1】</p>	<p>区役所や区議会の働きを調べ、住民が選挙を通して政治に関わっていることを捉える。</p>	<p>○「おでかけひろば」が実現する過程を調べ、住民が政治にどのように関わっているのかや、区役所や区議会、都や国の果たしている役割をつかむ。 ◆「おでかけひろば」は、住民の願いや社会の動きなどを受けて、法律に基づいて、区役所が計画や予算案をつくり、議会の承認や国の補助金を受けて実現したこと。住民は選挙を通して代表を選び、政治の進め方を決めていること。</p>	<p>①「おでかけひろば」が実現するまでの流れを調べる。 ②区役所や区議会、都や国の働きを調べる。 ③住民・区役所・区議会の関係を考えて、図や文で表す。</p>	
<p>たがいに助け合う社会 P40～41 【配時 1】</p>	<p>世田谷区の高齢者福祉事業の取り組みを調べ、誰もが安心して生きがいのある生活を送るために政治の働きが必要であることを捉える。</p>	<p>○世田谷区の高齢者福祉事業の取り組みを調べ、社会保障の役割や少子化・高齢化、人口減少によって起こる問題について考える。 ◆社会全体で助け合う仕組みとして社会保障があること。少子化・高齢化、人口減少によってさまざまな問題が生じること。</p>	<p>①世田谷区が行っている高齢者福祉事業の概要を調べる。 ②社会保障制度について調べ、その役割を考える。 ③少子化・高齢化や人口減少によって起こる問題について考え、話し合う。</p>	
<p>社会の課題の解決とわたしたち P42～43 【配時 1】</p>	<p>少子化・高齢化、人口減少に対する取り組みを調べ、社会の課題の解決には政治の働きが不可欠であることを捉える。</p>	<p>○少子化・高齢化や人口減少によって起こる問題に対する国や全国の地方公共団体の取り組みを調べ、政治の役割について考える。 ◆少子化・高齢化や人口減少といった社会全体の問題に対して、国や地方公共団体が解決に向けた取り組みを行っていること。</p>	<p>①少子化・高齢化、人口減少によって起こる問題に対する国や全国の自治体の取り組みを調べる。 ②東日本大震災による原子力発電所の事故など社会にはさまざまな問題があることを調べる。 ③社会の課題の解決に向けた政治の役割について話し合う。</p>	<p>※学習のまとめ方・つなげ方について、なにをもとに、どのように行うのか、次時(①～④)および次々時(①～⑤)について説明をする。</p>
<p><まとめる> P44～45 【配時 1】</p>	<p>調べたことをまとめて、社会の問題を解決し人々の願いを実現する政治の働きを捉え、自分の暮らしと政治の関わりを考え、表現する。</p>	<p>○学習してきた、日本社会の問題や人々の願いに対する政治の働きについてまとめ、暮らしと政治の関わりについて考える。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②日本の社会の課題や人々の暮らしの願いを振り返る。 ③人々の願いを実現する政治の仕組みについて図に整理する。 ④自分の暮らしと政治の関係について考え、話し合う。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、日本社会の問題や人々の願いに対する政治の働きについて、わかったことや考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1時間】 ※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p><つなげる> 政治への参加について話し合おう P46～47 【配時 1】</p>	<p>投票率の変化などの資料に着目し、国民の政治参加の現状や課題を捉え、自分と政治との関わりについて考え、表現する。</p>	<p>○選挙の投票率の変化，年齢別の投票率，投票に対する意識，外国の選挙制度などをもとに，自分がこれからどのように政治に参加していくかを考え，表現する。 ◆選挙の投票率は低下傾向で，特に，若い世代の投票率が低いこと。国民の権利を生かしていくためには，積極的に参加することが重要であること。</p>	<p>①選挙の投票率の変化や年齢別の投票率を調べ，気がついたことや考えたことを話し合う。 ②投票の方法やきまりなどを調べる。 ③投票に対する意識について調べ，選挙権を生かすために大切なことを考える。 ④外国の選挙制度を調べ日本の選挙制度と比べる。 ⑤これから自分がどのように政治に参加していくかを考え，表現する。</p>	<p>教科書を見ながら，国民の政治参加の現状や課題を捉え，自分と政治との関わりについて考えたことをノートに書く。【1時間】</p> <p>※各自ノートを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。</p>

せんたく：2 災害からわたしたちを守る政治 【配当-時間】

※「わたしたちの暮らしを支える政治」が「災害からわたしたちを守る政治」または「雪とともに生きる暮らしを支える政治」を選択

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
突然の大地震と津波 P48～49 【配時一】	東日本大震災による被害や被災した人々の願いに着目して、政治の働きについて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○東日本大震災による被害を調べ、被災者の願いを想像し、願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆東日本大震災が起こり、東北地方を中心とした地域の人々が大きな被害を受けたこと。	①東日本大震災について知っていることを話し合う。 ②写真や文章資料から被害の状況を調べる。 ③被災した人々の願いを想像し、願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
<p>学習問題 災害によって大きな被害を受けた人々の願いを実現するために、政治はどのようなはたらきをしているのだろう。</p>				
緊急の支援 P50～51 【配時一】	被災地に対する支援を調べ、災害で被害を受けた国民の生活を守る政治の働きを捉える。	○被災した人々に対して、どのような緊急の支援が行われたのか、それはどのような仕組みによって実現したのかを調べる。 ◆被災した人々の命と安全を守るために、釜石市は国や県、他の市町村に支援を要請し、さまざまな機関が協力しながら支援活動を行ったこと。	①釜石市が受けた被害を調べる。 ②被災した人々のために市や県、国などが行った緊急支援を調べる。 ③被災地に対する支援の仕組みを調べる。 ④人々の願いと政治の働きのつながりについて話し合う。	
復興に向けて動き出す P52～53 【配時一】	市役所や市議会の働きを調べ、復興を進めるための政治の働きを捉える。	○釜石市で行われてきた復興への取り組みや計画づくりについて調べ、復興を進めていく上で大切なことを考える。 ◆釜石市では住民の意見を生かしながら復興まちづくり計画がつくられ、復興に向けた取り組みが行われていること。取り組みは、法律や条例に基づいて行われ、税金が使われていること。	①港の改修、仮設校舎の建設など、復興への取り組みを調べる。 ②復興まちづくり基本計画がつくられるまでの過程を調べる。 ③復興を進めるために国が整えた制度を調べる。 ④復興を進めていく上で大切なことを考える。	

<p>命を守るまちづくり P54～55 【配時一】</p>	<p>釜石市の災害に強いまちづくりを調べ、国や県、市による政治は、復興を進める上で大切な働きをしていることを捉える。</p>	<p>○復興に向けて行われた事業や継続して行われている取り組みを調べ、災害に強いまちづくりを行うために大切なことを考え、話し合う。 ◆災害に強いまちづくりを行うためには、国・県・市による取り組み（公助）とともに、地域の助け合い（共助）や自分や家族を守る取り組み（自助）も大切であること。</p>	<p>①復興に向けての防波堤再建や高台移転などの事業について調べる。 ②災害から自分たちの命や暮らしを守るためには何が必要かを考え、話し合う。 ③災害に強いまちづくりを行うために大切なことを考える。</p>	
---------------------------------------	--	---	---	--

せんたく：2 雪とともに生きる暮らしを支える政治 【配当-時間】

※「わたしたちの暮らしを支える政治」が「災害からわたしたちを守る政治」または「雪とともに生きる暮らしを支える政治」を選択

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
まちで暮らす人々の願い P56～57 【配時一】	身近な地域の様子や市民たちの願いに着目し、人々の願いをかなえ地域の問題を解決するための政治の働きについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○札幌市の気候の特徴によって起こる問題に対する人々の願いを読み取り、願いを実現する政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆市民は降雪によって起こる問題に対して願いをもっていること。願いの実現や地域の問題の解決のためには、政治の働きが関わっていること。	①冬の札幌市の写真やグラフなどから札幌市の気候の特徴を読み取る。 ②降雪によって起こる問題に対して人々がどのような願いをもっているのかを調べる。 ③市民の願いをかなえ、地域の問題を解決する政治の働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
学習問題 人々の願いをかなえ、社会の問題を解決するために、 政治はどのようなはたらきをしているのだろう。				
雪対策で暮らしが変わった P58～59 【配時一】	札幌市が行っている雪対策事業の概要を調べ、計画的な除排雪によって、市民の暮らしを守る市役所の役割を捉える。	○札幌市が行っている雪対策の取り組みについて調べ、市民の政治への関わりや、市役所や道、国の果たしている役割をつかむ。 ◆札幌市では、冬の暮らしへの悩みや不安を解消するため、雪対策の取り組みが進められていること。市役所が計画や予算案をつくり、国の法律に従い、道や国からの補助金も使用して除排雪を実施していること。	①札幌市が行っている雪対策の取り組みを調べる。 ②除排雪の実施に関わる市役所や道、国の働きを調べる。 ③除排雪などの雪対策への市民の関わり方について話し合う。	
雪を生かす P60～61 【配時一】	「さっぽろ雪まつり」の発展やどのようにして行われているかを調べ、市役所の果たす役割をつかみ、市民は意見を出したり、選挙で投票したりすることを通して政治に関わっていることを捉える。	○「さっぽろ雪まつり」の発展やどのようにして行われているかを調べ、市民の政治への関わり方や、市役所の果たしている役割をつかむ。 ◆「さっぽろ雪まつり」は、市民の願いや地域の特徴などを背景に、市役所が計画や予算案をつくり、関係機関や民間企業の協力を受けて実現したこと。市民は選挙を通して代表を選び、政治の進め方を決めていること。	①「さっぽろ雪まつり」が現在のような行事になるまでの流れを調べる。 ②「さっぽろ雪まつり」を開催するための市役所の働きを調べる。 ③市民・民間企業・市役所・関係機関の関係を考えて、表現する。	

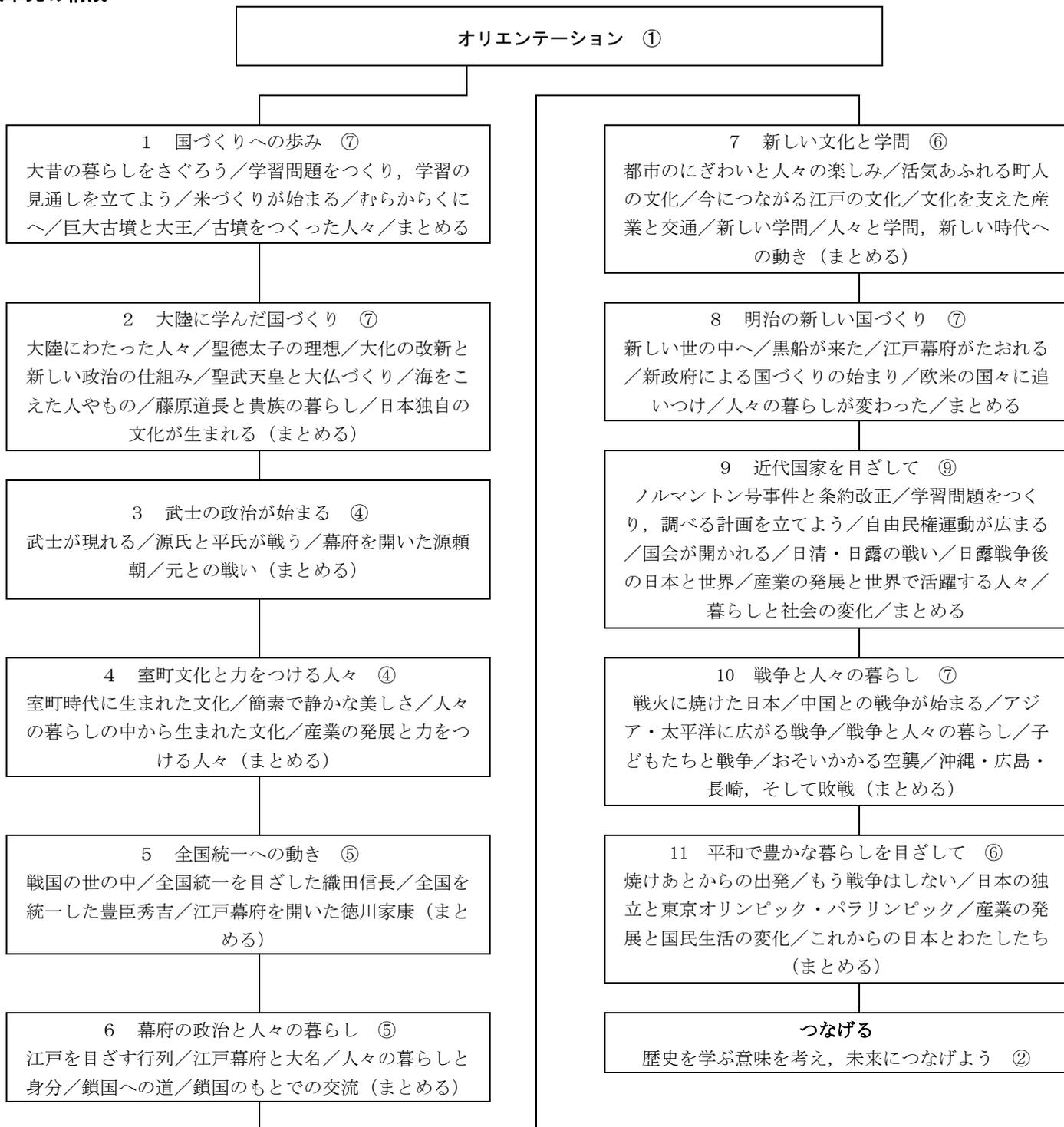
大単元 2	日本の歴史	配当時間 70 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 7.5 時間)</small>	教科書 6 P64～231
-------	-------	---	--------------------------------

目 標

- 国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日本の歴史の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、各時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本の歴史上の主な事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解している。 ・ 遺跡や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時代の世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、歴史上の主な事象を捉え、日本の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



○の中の数字は，配當時数。

小単元 1	国づくりへの歩み	配当時間 7時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)</small>	教科書 6 P74～89
-------	----------	---	-------------------------------

目 標

- 大昔の日本でむらからくにへと変化したことについて理解するとともに、遺跡や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 大昔の日本の暮らしについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。
- 縄文時代、弥生時代、古墳時代の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、むらからくにへと人々の生活が変化したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、狩猟・採集や農耕の生活、古墳の様子、大和朝廷による統一の様子について考え、表現している。 ・狩猟・採集や農耕など人々の生活の様子、古墳の広がり、国家の統一の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狩猟・採集や農耕の生活、の変化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名：2 日本の歴史

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>オリエンテーション 人々の願いの今と昔 P64～67 【配時 1】</p>	<p>選挙権の変化を調べて、昔と今で社会は変わってきたことを考え、表現する。</p>	<p>○「期日前投票の投票所に並ぶ人々」と「国会の審議を傍聴するために並ぶ人々」の写真を比べたり、選挙権をもつ人の割合の変化を調べたりして、社会の仕組みが変わってきたことをつかむ。</p>	<p>①「期日前投票の投票所に並ぶ人々」と「国会の審議を傍聴するために並ぶ人々」の写真を比較して、約90年前は女性が選挙権をもっていなかったことをつかむ。 ②選挙権をもつ人の割合の変化を調べ、選挙の仕組みが変化してきたことを調べる。 ③社会の仕組みが変化してきたことをつかみ、自分たちの暮らす社会がどのようにつくられてきたのかに関心をもつ。</p>	

小単元名：1 国づくりへの歩み 【配当7時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>大昔の暮らしをさぐる P74～77 【配時1】</p>	<p>想像図を読み取ったり出土物などを調べたりして、縄文時代の暮らしの様子を捉え、縄文時代の様子と弥生時代の様子との想像図を比較して、暮らしの変化を考え、表現する。</p>	<p>○「狩りや漁をしていたころの様子」と「米づくりが広まったころの様子」の想像図を読み取ったり、比較したりして、気づいたことや疑問点について話し合う。 ◆大昔の人々が、狩りや漁、採集を行って暮らしていたことや、そうした暮らしの様子が変化していったこと。</p>	<p>①「狩りや漁をしていたころの様子」の想像図から、人々がどのような暮らしをしていたのかを読み取る。 ②P74の写真や記述から、当時の人々の暮らしについて調べる。 ③「米づくりが広まったころの様子」の想像図から、人々がどのような暮らしをしていたのかを読み取る。 ④2枚の想像図を比較して、何が変化しているかを話し合い、それはなぜかを予想する。</p>	
<p>学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P78～79 【配時1】</p>	<p>2枚の想像図の読み取りからわかったことや疑問点に着目し、大昔の人々の暮らしの変化について学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○2枚の想像図の読み取りから、大昔の人々の暮らしの変化について学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	<p>①2枚の想像図の読み取りからわかったことや考えたこと、知りたいことを話し合い、学習問題をつくる。</p>	<div data-bbox="256 1178 1450 1252" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題 大昔の人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろう。</p> </div> <p>②学習問題に対する予想を出し合う。 ③予想をもとに、学習問題を解決していくための方法（調べること・調べ方）について見通しをもつ。</p>

<p>米づくりが始まる P80～81 【配時 1】</p>	<p>想像図を読み取ったり米づくりに使われた道具などを調べたりして、農耕による人々の暮らしの変化を捉える。</p>	<p>○米づくりの様子の想像図や、田げた、石包丁などの写真から、この時代の米づくりの方法や作業の特徴をつかみ、米づくりによってどのように暮らしが変わったのかを考える。 ◆米づくりが始まって、人々は集まって定住し、共同で作業を行うようになったこと。</p>	<p>①米づくりの様子の想像図や、田げた、石包丁などの写真から、この時代の米づくりの方法や作業の特徴をつかむ。 ②米づくりによって、人々の暮らし方がどのように変わったのかを考える。 ③米づくりが始まったことで、人々の暮らしにどのような変化が現れたのかをまとめる。</p>	
<p>むらからくへ P82～83 【配時 1】</p>	<p>吉野ヶ里遺跡の様子などを調べ、むらからくへへと変化していく社会の動きを捉える。</p>	<p>○吉野ヶ里遺跡やそこからの出土物、邪馬台国などについて調べ、むらからくへへと移り変わったころの変化の様子をつかむ。 ◆米づくりが定着すると、むらの規模に差が生じ、争いも生まれてきたこと。そうした中から、他のむらを従える指導者が王となり、くにがつくられるようになったこと。</p>	<p>①吉野ヶ里遺跡の写真や出土品、P76～77の想像図から、大規模な集落が生まれたころの様子を読み取る。 ②どのようにしてむらからくへへと移行したのか、それにもなるとどんな変化があったのかについて考える。 ③邪馬台国のコラムなどから、王に率いられたくへの様子をつかむ。</p>	
<p>巨大古墳と大王 P84～85 【配時 1】</p>	<p>大和朝廷と地方豪族の関係を調べ、国土が統一されていったことを捉える。</p>	<p>○大仙古墳の写真から、巨大な古墳をつくることのできる力をもつ人々が現れたことをつかみ、前方後円墳の分布や出土品を調べて、朝廷の支配の広がりや朝廷と各地の豪族との関係を考える。 ◆各地で強い勢力をもつ豪族が現れ、これらの豪族たちが連合して大和朝廷をつくり、大王の支配が広い範囲におよぶようになったこと。</p>	<p>①大仙古墳の大きさを調べ、身近なものと比較するなどして規模を実感する。 ②誰が、どのような目的でこのような古墳をつくったのかを話し合う。 ③前方後円墳の分布や出土した鉄剣・鉄刀から、朝廷の支配の広がりや朝廷と各地の豪族との関係を考える。</p>	

<p>古墳をつくつた人々 P86～87 【配時 1】</p>	<p>古墳がつくられる様子を想像図から読み取り、朝廷や豪族の権力の大きさを捉える。</p>	<p>○「古墳づくりの様子」の想像図を読み取り、大勢の人や大量の物資、高度な技術が必要であることをつかみ、豪族の力の大きさや大陸から伝わった技術の果たした役割を考える。 ◆巨大古墳は、大きな力や富、大陸の進んだ技術を用いてつくられたこと。</p>	<p>①想像図から、大勢の人々がさまざまな作業に取り組んでいることを読み取る。 ②古墳造営の困難さについて話し合い、大規模な作業が組織的に行われていたことをつかむ。 ③古墳造営に必要な高度な技術が、渡来人によって伝えられたことをつかむ。 ④「古事記」、「日本書紀」などに国の形成に対する昔の人々の考え方が現れていることを捉える。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、次時(①～③)の学習活動について説明をする。</p>
<p><まとめる> P88～89 【配時 1】</p>	<p>調べたことをまとめ、人々の暮らしや関係が変化したことや国土が統一されていったことを捉え、米づくりの広まりと暮らしや社会の変化の関係を考え、表現する。</p>	<p>○学習してきた、縄文時代、弥生時代、古墳時代の特徴についてまとめ、米づくりの広まりと人々の暮らしや関係の変化から、国土が統一されていった様子を考える。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②学習してきた三つの時代の名称や特徴をまとめる。 ③米づくりの広まりと人々の暮らしの変化の関係について考え、図で表現する。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、米づくりの広まりと暮らしや社会の変化について、わかったことや考えたことを教科書の空欄やノートに書く。【1時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 2	大陸に学んだ国づくり	配当時間 7 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P90~104
-------	------------	--	--------------------------------

目 標

- 天皇を中心とした政治の確立や文化の変化について理解するとともに、遺跡や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 古代の日本の政治の仕組みや文化の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 古代の日本の政治の仕組みについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、大陸文化の摂取、大家の改新、大仏造営、貴族の生活や文化を理解している。 ・ 調べたことを年表や図表などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立し、日本風の文化が生まれたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営、貴族の生活や文化について考え、表現している。 ・ 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営、貴族の生活や文化の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大陸の文化と日本の政治や文化との関係について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・ 学習したことをもとに長い歴史を経て築かれてきた日本の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

小単元名：2 大陸に学んだ国づくり 【配当7時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
大陸にわたった人々 P90～91 【配時 1】	遣唐使の派遣に着目し、大陸の文化と日本の国づくりについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○遣唐使について調べ、日本が長期間にわたって使節を送った理由を考え、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆日本から中国へ何度も遣唐使が派遣され、使節は命がけの航海をして大陸を目標としたこと。	①遣唐使船の航海について調べ、多くの困難を乗り越えて大陸を目標していたことをつかむ。 ②遣唐使がどのような目的で大陸を目標したのか、何を持ち帰ったのかを調べる。 ③日本の国づくりと大陸の文化との関係を考え、この頃の日本の国づくりについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
学習問題 大陸から伝わった文化は、日本の国づくりにどのように生かされたのだろう。				
聖徳太子の理想 P92～93 【配時 1】	聖徳太子の考えや太子が行った政治の特色を調べ、天皇中心の国づくりが進められたことを捉える。	○聖徳太子について調べ、どのような国づくりを目標していたのか、太子の理想がその後の政治にどのような影響を与えたのかを考える。 ◆聖徳太子が、天皇中心の国づくりを目標して十七条の憲法や冠位十二階をつくり、大陸から進んだ政治の仕組みや文化を取り入れようとしたこと。	①聖徳太子がどのようなことを行ったのかを調べる。 ②聖徳太子が目標とした国づくりと、大陸の政治や文化との関係を考える。 ③聖徳太子の業績と、その後の政治に与えた影響について考える。	
大化の改新と新しい政治のしくみ P94～95 【配時 1】	木簡に記されていた内容や大化の改新を調べ、天皇中心の中央集権の仕組みが整えられたことを捉える。	○木簡に書かれていることや大化の改新後の改革の内容などを調べ、都と地方の関係について考え、天皇中心の政治の仕組みについて捉える。 ◆大化の改新をきっかけに中央集権の仕組みがつくられ、都の人々の暮らしを支える生産物が各地から届けられるようになったこと。	①木簡が何に使われたのか考えたり、貴族と庶民の食事を比べたりして、都と地方との関係について話し合う。 ②大化の改新とその後の改革の内容について調べる。 ③天皇中心の中央集権の体制が整備されていったことを捉える。	

<p>聖武天皇と大仏づくり P96～97 【配時 1】</p>	<p>大仏造営の様子を調べ、天皇を中心とした政治が確立したことを捉える。</p>	<p>○大仏づくりについて調べることを通じて、天皇中心の政治の仕組みが整えられていったことを捉える。 ◆天皇が大きな力で全国を支配する仕組みが整えられ、大仏造営や国分寺の建設が進められたこと。</p>	<p>①大仏造営の様子を調べ、天皇を中心とした政治が確立したことを捉える。 ②聖武天皇・行基・大仏づくりに携わった民衆などの立場から、大仏づくりの意味を考え、話し合う。 ③国をあげての大事業が行われたことや、国分寺の分布図などから、天皇中心の支配の仕組みが整えられたことをつかむ。</p>	
<p>海をこえた人やもの P98～99 【配時 1】</p>	<p>大仏が完成したころの日本とアジアの国々との交流を調べることを通して、日本の国づくりへの大陸の政治や文化の影響を捉える。</p>	<p>○鑑真が来日した経緯や正倉院の宝物などを調べ、日本の国づくりとアジアの国々との関わりについて考える。 ◆日本は、中国との交流を通してアジアの国々の文化の影響を受けていること。</p>	<p>①鑑真が来日した経緯から、鑑真の思いや日本に招いた人々の願いを考える。 ②P90～91も振り返りながら、遣唐使たちが果たした役割について考える。 ③正倉院宝物や地図から、日本とアジアの国々とのつながりについて考える。</p>	
<p>藤原道長と貴族の暮らし P100～101 【配時 1】</p>	<p>貴族の暮らしの様子を調べ、貴族が栄えた頃の文化と今日の暮らしや文化とのつながりに関心をもてるようにする。</p>	<p>○貴族の屋敷や暮らしの様子について調べ、貴族の栄えた頃の政治の様子をつかむ。 ◆貴族が力をもって政治の中心をなうようになり、貴族の暮らしの中から、今につながる文化も生まれてきたこと。</p>	<p>①貴族の屋敷の想像図から、貴族の暮らしの様子を読み取る。 ②藤原氏が行った政治を調べ、貴族の時代の社会の様子をつかむ。 ③貴族の時代の社会や文化の特色をつかみ、現在にも受け継がれているものがあることに気づく。</p>	
<p>日本独自の文化が生まれる P102～103 <まとめる> P104 【配時 1】</p>	<p>大和絵やかな文字の成立などを調べ、新しい日本風の文化が生まれたことを捉える。 また、調べたことをまとめ、天皇中心の国づくりが進められたことや、日本独自の文化が生まれたことを捉え、大陸の文化と日本の国づくりを関連付けて考え、表現する。</p>	<p>○大和絵やかな文字を手がかりに、貴族の時代に生まれた文化を調べ、日本独自の文化がつけられたことをつかむ。 ◆大陸の文化の強い影響のもとで発展してきた日本で、それらを消化・吸収した、日本固有の文化が形づくられたこと。</p>	<p>①大和絵やかな文字などを手がかりにして、貴族の時代に生まれた文化について調べる。 ②「源氏物語」、「枕草子」などを通して、貴族の世の中で生まれた文化が現代まで続くよさをもっていることをつかむ。 ③大陸の文化を消化・吸収して、日本独自の文化様式がつけられたことを理解する。 ④「まとめる」(P104)も活用して、本単元の学習をまとめる。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、天皇中心の国づくりが進められたこと、日本独自の文化が生まれたことについてわかったことや、大陸の文化と日本の国づくりとの関連について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1/2時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 3	武士の政治が始まる	配当時間 4 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P106～114
-------	-----------	--	---------------------------------

目 標

- 武士による政治が始まったことについて理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 武士による政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 武士が現れたことによる世の中の変化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子を理解している。 ・ 調べたことを年表や図表などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考え、表現している。 ・ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武士が現れたことによる世の中の変化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：3 武士の政治が始まる 【配当 4 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>武士が現れる P106～107 【配時 1】</p>	<p>武士の暮らしの様子に着目し、武士が現れた後の社会について学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○武士の館の想像図から、武士の暮らしの様子を読み取り、武士の世の中について調べていく学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆武芸を身につけ、武士が、各地で力をつけてきたこと。</p>	<p>①武士の館の想像図から、武士の暮らしの様子を読み取る。 ②館とその周辺に住んでいる人々の関係について考え、地方や都で武士が現れたことを捉える。 ③貴族の暮らしの様子との違いに着目しながら、武士が活躍した世の中について調べていく学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	
<p>学習問題 武士が現れて、世の中の様子はどのように変わったのだろう。</p>				
<p>源氏と平氏が戦う P108～109 【配時 1】</p>	<p>源氏と平氏の戦いを調べ、武士が力をもった経緯を捉える。</p>	<p>○源平の戦いの経緯を調べ、武士がどのようにして力をもつようになったのかを考える。 ◆武士の中で源氏と平氏が力をのばし、戦いの結果、源氏が平氏を滅ぼしたこと。</p>	<p>①源氏と平氏の戦いを時系列で整理しながら、それぞれの戦いの経緯やエピソードを調べる。 ②源氏と平氏の戦いの結果、源氏が勝利して武士が政権を握るまでの流れをつかむ。 ③武士が力をもつようになった背景をつかみ、武士がどのような政治を目ざしたのか予想する。</p>	
<p>幕府を開いた源頼朝 P110～111 【配時 1】</p>	<p>鎌倉幕府の成立や、幕府と御家人の関係を調べ、幕府の政治の仕組みについて捉える。</p>	<p>○鎌倉の地形的特徴や、幕府と御家人の関係を調べ、武士による政治の仕組みについて考える。 ◆源頼朝が武士の政治を始め、幕府と御家人は土地を仲立ちとしてつながっていたこと。武士の力が朝廷をしのぐようになったこと。</p>	<p>①鎌倉の地形的な特徴を読み取り、これまでの政治の中心地との違いを考える。 ②「ご恩と奉公」、「いざ鎌倉」という言葉に着目し、幕府と御家人の関係について話し合う。 ③幕府の政治の仕組みや朝廷との関係を調べ、鎌倉時代の特徴を考える。</p>	

<p>元との戦い P112～113</p> <p><まとめる> P114 【配時 1】</p>	<p>元との戦いとその後の幕府と御家人の関係を調べ、鎌倉幕府の政治がゆらいでいったことを捉える。また、調べたことをまとめ、武士による政治が始まったことやその政治の特徴を捉え、幕府と御家人の関係やその変化について考え、表現する。</p>	<p>○元との戦いの様子を調べ、この戦いが幕府にどのような影響を与えたのかを考える。</p> <p>◆元との2度の戦いの結果、「ご恩と奉公」の関係がくずれ、鎌倉幕府が衰えていったこと。</p>	<p>①元軍と日本の武士との戦いの様子を読み取る。</p> <p>②武士は何を求めて戦ったのか、幕府はどのように対応したのかを調べる。</p> <p>③元との戦いの後、幕府と御家人との関係がどのように変化していったのかを調べる。</p> <p>④「まとめる」(P114)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習を振り返る。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、武士による政治についてわかったことや、幕府と御家人の関係やその変化について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
---	---	--	--	--

小単元 4	室町文化と力をつける人々	配当時間 4 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P116~123
-------	--------------	--	---------------------------------

目 標

- 今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことについて理解するとともに、遺跡や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 室町時代の文化の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 室町時代の文化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、室町時代の代表的な建築物や絵画などの特徴を理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化財などに着目して、問いを見出し、室町時代の文化について考え、表現している。 ・代表的な建造物や絵画などと当時の社会の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特徴を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室町時代の文化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに長い歴史を経て築かれてきた日本の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

小単元名：4 室町文化と力をつける人々 【配当4時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
室町時代に生まれた文化 P116～117 【配時1】	室町時代の建造物に着目して、新たな文化が生まれたことについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○金閣・銀閣について調べ、書院造の写真を見て気づいたことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆室町時代には書院造の部屋がつけられ、足利義満・義政によって金閣・銀閣が建てられたこと。	①金閣・銀閣について調べる。 ②書院造の写真と現在の和室を比べ、気づいたことを話し合う。 ③室町時代に生まれた文化について調べる学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
学習問題 室町時代には、どのような文化が生まれたのだろうか。				
簡素で静かな美しさ P118～119 【配時1】	水墨画や茶の湯、生け花などを調べ、室町時代の文化の特徴や現在まで文化が受け継がれていることを捉える。	○室町時代に盛んになった水墨画や茶の湯、生け花などについて調べる。 ◆室町時代には雪舟によって日本風的水墨画が完成され、茶の湯や生け花などもさかんになったこと。	①「天橋立図」を見て、感じたことを話し合う。 ②雪舟の業績を調べる。 ③茶の湯や生け花などについて調べる。 ④水墨画、茶の湯、生け花の特徴を捉え、現代まで受け継がれてきた意味を考えて、話し合う。	
人々の暮らしの中から生まれた文化 P120～121 【配時1】	能や狂言について調べ、室町時代に生まれた文化と今日の暮らしや文化とのつながりに関心をもてるようにする。	○能や狂言について調べ、室町時代の文化と今日の暮らしや文化とのつながりを考え、表現する。 ◆田楽や猿楽が能や狂言に発展したこと。室町時代の文化は、現代に受け継がれていること。	①「月次風俗図屏風」と「壬生の花田植」の資料を見て、気づいたことを話し合う。 ②能や狂言について調べる。 ③「狂言師の野村萬斎さんの話」を読んで、室町時代に生まれた芸能が現代に受け継がれていることについて考え、表現する。	
産業の発達と力をつける人々 P112 <まとめる> P123 【配時1】	中世の産業の様子を調べ、文化が生まれた背景を捉える。また、調べたことをまとめ、室町時代の文化の特徴を捉え、文化が現代まで受け継がれてきたことを考え、表現する。	○中世の産業の発達について調べ、人々の中から現代につながる文化が生まれたことを考える。 ◆中世に産業が発達し、民衆が力をつけたこと。人々の暮らしの中から生まれた文化は現代にも受け継がれていること。	①「農作業の様子」の想像図を見て、気づいたことを話し合う。 ②さまざまな技術の発達によって、人々の暮らしや農業生産の様子はどのように変化していったのかを調べる。 ③人々の暮らしや産業の変化が室町文化に与えた影響を考える。 ④「まとめる」(P123)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習を振り返る。	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、室町時代の文化の特徴についてわかったことや、文化が現代まで受け継がれてきたことについて考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 5	全国統一への動き	配当時間 5時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P124～136
-------	----------	---	---------------------------------

目 標

- 戦国の世が統一されたことについて理解するとともに、海外資料や文化財、地図帳やキ球技、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 信長・秀吉・家康の政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 信長・秀吉・家康の全国統一について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来、信長・秀吉・家康の全国統一、江戸幕府の始まりについて理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、戦国の世の中が統一されたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、キリスト教の伝来、信長・秀吉・家康の全国統一について考え、表現している。 ・キリスト教の伝来、信長・秀吉・家康の全国統一、江戸幕府の始まりの様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信長・秀吉・家康の全国統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：5 全国統一への動き 【配当5時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>戦国の世の中 P124～127 【配時2】</p>	<p>長篠の戦いの様子に着目し、戦国の世の中から全国が統一されたことについて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○長篠の戦いの絵図から気づいたことを話し合い、戦国の世の中になった経緯や信長。秀吉・家康の3人の概要について調べて、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆応仁の乱の後、日本は戦国の世の中になり、外国から伝わった鉄砲が戦いに使われるようになったこと。</p>	<p>①長篠の戦いの絵図を読み取り、気づいたことを発表する。 ②教科書の文章や地図などから、戦国の世の中になった経緯や、当時の様子を調べる。 ③3人の武将の人物年表から、3人の武将によって、戦国の世の中がこの後どのように統一されていくのか話し合う。 ④全国統一がどのように進められていくのかについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	
<p>学習問題 3人の武将は、全国統一にどのような役割を果たしたのだろう。</p>				
<p>全国統一を目指した織田信長 P128～131 【配時1】</p>	<p>織田信長が行った政治やキリスト教の伝来を調べ、全国統一に向けて信長が果たした役割を捉える。</p>	<p>○信長が全国統一を目指して行った業績を調べ、当時の人々の思いや信長の果たした役割を考える。 ◆信長は、対抗勢力を武力で抑え込みながら、商工業をさかんにしたりキリスト教を保護したりするなど、新しい考え方で政治を進めたこと。</p>	<p>①「安土城と城下町」の想像図から、信長の政治がどのようなものだったのかを考え、信長はどのようにして全国統一を進めようとしていたのかを調べる。 ②「南蛮図屏風」や文章から全国統一を目指す信長がなぜ外国との関係を強めたのか考える。 ③全国統一を進めるために信長の行ったことをまとめ、果たした役割を考える。</p>	
<p>全国を統一した豊臣秀吉 P132～133 【配時1】</p>	<p>豊臣秀吉が行った政治を調べ、全国統一に向けて秀吉が果たした役割を捉える。</p>	<p>○秀吉が全国統一を目指して行った業績を調べ、当時の人々の思いや秀吉の果たした役割を考える。 ◆秀吉は信長の政治を引き継いで全国統一を達成し、検地や刀狩の政策を進めたこと。</p>	<p>①秀吉はどのようにして全国統一を進めようとしていたのかを調べる。 ②当時の人々が秀吉のことをどのように思っていたかを、調べたことを根拠にして考える。 ③全国統一を進めるために秀吉の行ったことをまとめ、果たした役割を考える。</p>	

<p>江戸に幕府を開いた徳川家康 P134～135</p> <p><まとめる> P136</p> <p>【配時 1】</p>	<p>徳川家康が行った政治を調べ、全国統一に向けて家康が果たした役割を捉える。また、調べたことをまとめ、3人の武将によって戦国の世の中が統一されたことを捉え、3人の武将を比較し、果たした役割を考え、表現する。</p>	<p>○家康が江戸幕府を開くまでの経緯を調べ、信長・秀吉・家康の政治をまとめる。</p> <p>◆家康が対立する大名を破り、江戸幕府を開いたこと。大規模な工事などを通して、大名への支配を強めたこと。</p>	<p>①家康はどのようにして江戸幕府を開いたのかを調べる。</p> <p>②「江戸図屏風」や地図などから家康の政治の特徴を考える。</p> <p>③「まとめる」(P136)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習を振り返る。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、③の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、3人の武将による戦国の世の中の統一についてわかったことや、3人の武将を比較してその果たした役割について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
--	--	---	---	--

小単元 6	幕府の政治と人々の暮らし	配当時間 5時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P138～148
-------	--------------	---	---------------------------------

目 標

- 武士による政治が安定したことについて理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 江戸幕府の政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 江戸幕府の政治について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について理解している。 ・ 調べたことを年表や図表などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度について考え、表現している。 ・ 参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制度を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸幕府の政治について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：6 幕府の政治と人々の暮らし 【配当5時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において 行うことが考えられる教材・学 習活動
江戸をみざす 行列 P138～139 【配時1】	大名行列の様子に着目し、江戸幕府の政治について学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○大名行列の想像図を読み取り、大名行列が行われるようになった理由を考え、江戸幕府の政治の仕組みや社会の様子について学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆江戸時代には、各地の大名が多くの日数と費用をかけて江戸に向かう行列が行われたこと。	①想像図を読み取り、気づいたことや疑問に思ったことを出し合う。 ②大名行列が行われたのはなぜかを予想する。 ③江戸幕府の政治の仕組みや社会の様子について調べていく学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
学習問題 江戸幕府は、どのようにして全国を治めていったのだろう。				
江戸幕府と大名 P140～141 【配時1】	大名の配置図や武家諸法度、参勤交代の制度などを調べ、江戸幕府の大名支配の仕組みを捉える。	○大名配置図や武家諸法度、参勤交代の制度などを調べ、江戸幕府がどのような仕組みや考え方で大名を支配したのかを考える。 ◆江戸幕府が、大名たちが力をつけられないような仕組みをつくり、強い力で全国を支配したこと。	①大名の配置にはどのような特徴があるかを話し合う。 ②武家諸法度や将軍にあいさつする大名たちの絵などから、幕府がどのような考え方で大名を支配したのかを調べる。 ③江戸幕府と大名の関係についてまとめる。	
人々の暮らしと身分 P142～143 【配時1】	身分制度のもとの人々の暮らしを調べ、江戸幕府の人々に対する支配の仕組みを捉える。	○村や町に住む人々の暮らしの様子を調べ、幕府が人々をどのように治めていたかを捉える。 ◆身分制度が確立し、人々は決められた役割をおって暮らしていたこと。	①村に住む人々の暮らしの様子や、百姓に対する幕府の政策を調べる。 ②町に住む人々の暮らしの様子や、町人に対する幕府の政策を調べる。 ③身分制度が確立したことと、幕府の支配との関係について考える。	
鎖国への道 P144～145 【配時1】	鎖国の経緯や内容を調べ、鎖国政策が幕府の支配に及ぼした影響を捉える。	○幕府が鎖国政策をとるまでの経緯を調べ、鎖国政策が国内にもたらした影響を考える。 ◆鎖国政策によって、江戸幕府が国内の支配をゆるぎないものにし、貿易の利益も独占するようになったこと。	①江戸時代の初め頃の日本と外国の交流の様子について調べる。 ②鎖国にいたる経緯を調べ、何を目的にして行われたのかを考える。 ③鎖国政策は国内にどのような影響をもたらしたかを考える。	

<p>鎖国のもとの交流 P146～147</p> <p><まとめる> P148 【配時1】</p>	<p>鎖国下での江戸時代の外国との交流を調べ、幕府の外交政策や交易の様子を捉える。</p> <p>また、調べたことをまとめ、江戸幕府の政治によって、武士の政治が安定したことを捉え、幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考え、表現する。</p>	<p>○鎖国のもとで行われた近隣諸国との交流を調べ、外国との交流が与えた影響を考える。</p> <p>◆鎖国政策のもとでも、対馬・薩摩・松前を窓口として近隣諸国との行き来や交易が行われていたこと。</p>	<p>①鎖国によって、外国との交流はどうなったのかを予想する。</p> <p>②対馬・薩摩・松前を窓口として、ほかの国や地域と交流が行われていたことを調べる。</p> <p>③鎖国のもとで、日本がほかの国や地域とどのような関係で結ばれていたのかをまとめる。</p> <p>④「まとめる」(P148)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習の過程を振り返る。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、江戸幕府の政治による武士の政治の安定についてわかったことや、幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子に関連について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2 時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
---	--	--	---	---

小単元 7	新しい文化と学問	配当時間 6時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P150～162
-------	----------	---	---------------------------------

目 標

- 町人の文化が栄え新しい学問がおこったことについて理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 江戸時代の文化や学問の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 江戸時代の文化や学問について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、代表的な江戸文化や国学や蘭学の特徴を理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化財などに着目して、問いを見出し、江戸時代の文化について考え、表現している。 ・代表的な江戸時代の文化や学問、当時の社会の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の文化や学問の特徴を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の文化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに長い歴史を経て築かれてきた日本の伝統や文化と紺にとの自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

小単元名：7 新しい文化と学問 【配当6時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
都市のにぎわいと人々の楽しみ P150～151 【配時1】	江戸の町のにぎわいに着目し、江戸時代の文化や学問についての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○江戸のまちなぎわいや人々の様子から、この時代にどのような文化や学問が生まれたのかを調べていく学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆大都市を中心に人々が力をつけ、新しい文化を楽しんでいること。	①「熙代勝覧」を読み取り、気づいたことや考えたことを発表し合う。 ②江戸時代の都市の様子や経済の発達について調べる。 ③豊かになった人々が生み出していった文化や学問について調べていく学習問題をつくり、学習計画を立てる。	
学習問題 江戸時代には、どのような文化や学問が生まれたのだろう。				
活気あふれる町人の文化 P152～153 【配時1】	歌舞伎や浮世絵などを調べ、江戸時代の町人文化の特徴を捉える。	○歌舞伎を楽しむ人々の様子や浮世絵などから、この頃に生み出された文化の特徴をつかみ、人々に親しまれた理由を考える。 ◆江戸時代には歌舞伎や浮世絵などが生み出され、人々の人気を得たこと。	①「歌舞伎を楽しむ人々」の様子から、歌舞伎に対する人々の思いを考える。 ②歌舞伎や浮世絵を例に、この時代に生み出された文化について調べる。 ③歌舞伎や浮世絵がさかんになった理由を考え、江戸時代の文化の特徴をまとめる。	
今につながる江戸の文化 P154～155 【配時1】	江戸時代の人々の楽しみを調べ、江戸時代の文化と今日の暮らしや文化とのつながりに関心をもてるようにする。	○浮世絵や写真から、江戸時代の人々の楽しみを調べ、この頃に生み出された文化が現代にも受け継がれていることを理解する。 ◆江戸時代には人々の楽しみが生まれ、現代の暮らしの中に受け継がれていること。	①新しい文化を生み出す背景となった江戸時代の社会の様子を調べる。 ②浮世絵や写真から、江戸時代の人々の楽しみを調べる。 ③江戸時代に生まれた文化が現代まで受け継がれてきた意味を考え、話し合う。	
文化を支えた産業と交通 P156～157 【配時1】	江戸時代の人やものの動きを調べ、産業の発展に伴って流通網が急速に整備され、人々の暮らしが変化したことを捉える。	○江戸時代の交通や産業の発達について調べ、人々の暮らしの変化との関係について考える。 ◆交通や産業の発達によって、人々の暮らしが変わっていったこと。	①浮世絵や地図から、江戸や大阪を中心として日本各地が陸路・海路で結ばれ、流通がさかんになったことを読み取る。 ②農村での生産や暮らしの様子を調べる。 ③流通が発達し、生産力が高まることによって人々の暮らしや社会の様子がどのように変わったのかを考える。	

<p>新しい学問 P158～159 【配時 1】</p>	<p>「解体新書」の作成や伊能忠敬の地図づくり、本居宣長の業績などを調べ、江戸時代の新しい学問の特徴を捉える。</p>	<p>○「解体新書」や伊能忠敬の地図作成の過程、本居宣長の業績を調べ、新しい学問を求める人々の取り組みを捉える。 ◆江戸時代には、蘭学や国学などの新しい学問が起こったこと。</p>	<p>①2枚の人体図の比較や解剖の見学の様子や想像図から、気づいたことを話し合う。 ②「解体新書」が出版された経緯や、伊能忠敬、本居宣長の業績を調べる。 ③江戸時代に起こった新しい学問とその影響についてまとめる。</p>	
<p>人々と学問、新しい時代への動き P160～161 <まとめる> P162 【配時 1】</p>	<p>寺子屋や藩校の広がりや百姓一揆や打ちこわしの増加などを調べ、教育の広がりが人々に与えた影響を捉える。 また、調べたことをまとめ、江戸時代に町人の文化や新しい学問が生まれ、人々に広まったことを捉え、その背景や影響を考え、表現する。</p>	<p>○江戸時代の寺子屋や藩校の広がりや百姓一揆や打ちこわしについて調べ、幕府を取り巻く環境の変化により人々の幕府に対する不満が高まったことを捉える。 ◆江戸時代には寺子屋、藩校、私塾がつくられ、教育が広がっていったこと。幕府の飢饉や外国への対応に対して人々の不満が高まったこと。</p>	<p>①「寺子屋の様子」から、江戸時代の教育の様子を読み取る。 ②寺子屋や藩校、私塾でどのような教育が行われていたのかを調べる。 ③打ちこわしや百姓一揆のグラフィックなどから、江戸幕府に対する人々の不満が広がっていたことを読み取る。 ④教育の広がりや幕府を取り巻く環境の変化が世の中に与えた影響について考える。 ④「まとめる」(P162)も活用して、本単元の学習をまとめる。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、江戸時代に生まれた町人の文化や新しい学問についてわかったことや、その背景や影響について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1/2 時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 8	明治の新しい国づくり	配当時間 7 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P166～178
-------	------------	--	---------------------------------

目 標

- 日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことについて理解するとともに、絵画・写真資料や文化財、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 明治時代の近代化の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 明治時代の近代化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画・写真資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化による社会の変化などを理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え、表現している。 ・黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化による社会の変化などを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の近代化について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：8 明治の新しい国づくり 【配当7時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>新しい世の中へ P166～167 【配時1】</p>	<p>2枚の浮世絵の人々や建物の様子の違いから、江戸時代が終わり、新しい時代になったことを考え、表現する。</p>	<p>○明治時代と江戸時代の高輪の様子を描いた浮世絵を比較しながら調べ、新しい時代になってどのような変化があったのかを考える。 ◆まちや人々の様子が大きく変わった背景には、政治や社会の仕組みの変化があったこと。</p>	<p>①「明治時代の初め（1872年）の高輪の様子」から、人々や建物、乗り物の様子を読み取る。 ②「江戸時代（1850年ごろ）にえがかれた高輪の様子」を読み取り、どのような変化があったのかを考える。 ③新しい時代が変わっていった理由を話し合う。</p>	
<p>黒船が来た P168～169 【配時1】</p>	<p>黒船来航とそれに対する幕府の対応に着目し、新しい国づくりについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○黒船来航の様子とその目的、それに対する幕府の対応や外国との条約の内容が政治や社会の仕組みに与えた影響を考え、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆ペリー艦隊の来航によって鎖国が終わるとともに、外国と不平等な条約を結び、外国との貿易が始まったこと。</p>	<p>①ペリー艦隊と防備を固める人々の絵から、当時の人々や幕府が黒船来航をどのようにとらえていたかを読み取る。 ②ペリーが来航した目的や幕府の対応について調べる。 ③外国と結んだ条約の内容をつかみ、それによって国内にどのような影響があったのかを考え、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	
<p>学習問題 明治の新しい国づくりは、何を旨として、どのように進められたのだろうか。</p>				
<p>江戸幕府がおれる P170～171 【配時1】</p>	<p>開国による人々の暮らしの変化や新しい政治を旨とする動きを調べ、武士の世の中が終わった経緯を捉える。</p>	<p>○幕府に対する人々の不満の高まりや、新しい政治を旨とする動きの強まりについて調べ、江戸幕府が倒れた経緯をつかむ。 ◆国内の政治への不満や開国の影響によって、幕府に代わる新しい政治を求める動きが強まり、江戸幕府が倒れ、武士の政治が終わったこと。</p>	<p>①幕末の米の値段の移り変わりのグラフなどから、江戸幕府に対する人々の不満が広がっていたことを読み取る。 ②武士の中からも、幕府の政治を批判する勢力が出てきたことを調べる。 ③江戸幕府が倒れた経緯と要因をまとめる。</p>	
<p>新政府による国づくりの始まり P172～173 【配時1】</p>	<p>明治政府が行った廃藩置県や身分制度などの改革を調べ、政府がどのような国づくりを旨としたのかを捉える。</p>	<p>○明治政府が行った諸改革によって、社会がどのように変わっていったのかを調べる。 ◆明治政府が、欧米諸国に学びながら、天皇を中心とした政治を進め、行政制度や身分制度を改革して社会を変えていったこと。</p>	<p>①岩倉使節団についての資料から、明治政府がどこから新しい政治や文化を学ぼうとしていたのかを読み取る。 ②五か条の御誓文から、政府がどのような方針で国づくりを進めたのかを調べる。 ③政府が行った諸改革を調べ、それによって社会がどのように変わったのかを考える。</p>	

<p>欧米の国々に追いつけ P174～175 【配時 1】</p>	<p>明治政府が、富国強兵の政策を行ったことを調べ、欧米諸国に追いつけるような国づくりを旨としたことを捉える。</p>	<p>○明治政府が進めた富国強兵の国づくりについて調べ、それによって政府が何を旨としたのかを考える。 ◆政府が、地租改正や徴兵令によって国を強くし、外国に学んで近代的な産業をおこして国を豊かにすることで、欧米諸国に追いつこうとしたこと。</p>	<p>①地租改正や徴兵令について資料を活用して調べる。 ②産業を発展させるために、政府がどのようなことを行ったのかを調べる。 ③①②を通して、政府はどのような国を旨として国づくりを進めたのかを考える。</p>	
<p>人々の暮らしが変わった P176～177 【配時 1】</p>	<p>人々の暮らしやまちの様子の変化を調べ、新しい時代になって西洋風の文化や考え方が取り入れられたことを捉える。</p>	<p>○明治時代になり、人々の暮らしやまちの様子、考え方がどのように変わったのかを調べる。 ◆西洋風の文化や考え方を積極的に取り入れ、人々の暮らしや意識、社会の制度が変化したこと。</p>	<p>①明治初め頃の東京の様子絵から、まち並みや人々の様子の変化を読み取る。 ②学校制度や暮らしにどのような変化があったのか、絵画や年表などから調べる。 ③福澤諭吉の業績について調べ、人々の生活や考え方の変化、現代の暮らしへの影響を考える。</p>	
<p><まとめる> P178 【配時 1】</p>	<p>調べたことをまとめ、日本は欧米の文化を取り入れて近代化を進めたことを捉え、明治政府の政策と人々の暮らしや社会の変化を関連付け、どのような国が目ざされたのか考え、表現する。</p>	<p>○明治時代の新しい国づくりについての学習をまとめ、近代化がどのように進められたかを考える。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②江戸幕府が倒れる前後の出来事を年表にまとめる。 ③学習してきた時代の出来事や人物を関係図に表す。 ④明治時代の国づくりが何を旨としてどのように行われたのかを話し合う。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、日本で進められた近代化についてわかったことや、明治政府の政策と人々の暮らしや社会の変化の関連について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2 時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 9	近代国家を目ざして	配当時間 9時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)</small>	教科書 6 P180～196
-------	-----------	--	---------------------------------

目 標

- 日本の国力が充実し国際的地位が向上したことについて理解するとともに、絵画・写真資料や文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 条約改正に向けた取り組みの特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 条約改正に向けた取り組みについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、絵画・写真資料や文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料で調べ、条約改正、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、科学の発展などを理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、日本の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子などに着目して、問いを見出し、条約改正、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、科学の発展などについて考え、表現している。 ・条約改正、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正に向けた取り組みについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：9 近代国家を目ざして 【配当9時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
ノルマントン号事件と条約改正 P180～181 【配時1】	ノルマントン号事件について調べ、不平等条約の改正を願う人々の思いを考え、表現する。	○不平等条約の影響や、政府・国民の考えを調べ、条約改正までの動きに興味をもつ。 ◆政府が西洋化・近代化を進めて条約改正を実現させようとしたことや、ノルマントン号事件をきっかけに、条約改正を求め国内の声が強まったこと。	①条約改正に向けての取り組みを調べる。 ②ノルマントン号事件に対して国民がどのように考えていたのかを調べる。 ③条約改正に対する人々の思いを考える。	
学習問題をつくり、調べる計画を立てよう P182～183 【配時1】	条約改正への歩みに着目し、条約改正を達成するまでの出来事について学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○二つの年表の読み取りから、不平等条約について学習問題をつくり、学習計画を立てる。	①二つの年表の読み取りからわかったことや考えたことや知りたいことを話し合い、学習問題をつくる。	
<p>学習問題 不平等条約の改正は、どのようにして実現されたのだろうか。</p>				
			②学習問題に対する予想を出し合う。 ③学習問題を解決していくための方法（調べること・調べ方）について見通しをもつ。	
自由民権運動が広まる P184～185 【配時1】	西南戦争や自由民権運動の高まりについて調べ、人々が新しい政治に対してもっていた願いを捉える。	○自由民権運動や西南戦争について調べ、人々がどのような政治を期待していたのかを考える。 ◆明治政府が行った政策に対しては反対の動きもあったこと、広く国民の意見を取り入れた政治を求める運動が起こり、広まったこと。	①西南戦争など各地で起こった土族の反乱を調べ、明治政府の諸改革との関連を考える。 ②自由民権運動の演説会にせりふをつけ、人々が政治に求めていることを考える。 ③自由民権運動が何を求め、どのように広がっていったのかを調べ、その影響について考える。	
国会が開かれる P186～187 【配時1】	大日本帝国憲法の発布や国会の開設について調べ、明治政府が目ざした政治のあり方がどのように実現したのかを捉える。	○大日本帝国憲法の条文や大日本帝国憲法下での政治の仕組み、制定過程から、明治政府が目ざした政治のあり方について考える。 ◆大日本帝国憲法が制定され、天皇主権のもとで国民の権利も一定認められるようになったこと、憲法にもとづいて議会政治が始まったこと。	①大日本帝国憲法の条文や大日本帝国憲法下での政治の仕組み、制定までの過程を調べ、政府がどのような国を目ざしていたのかを話し合う。 ②民間でつくられた憲法を調べ、人々がどのような願いをもっていたのかを考える。 ③選挙が行われ国会が開かれたことについて調べ、その意味を考える。	

<p>日清・日露の戦い P188～189 【配時 1】</p>	<p>日清・日露戦争について調べ、日本と世界の国々との関係の変化を捉える。</p>	<p>○二つの戦争の様子と結果を調べ、日本と周りの国々との関係がどのように変わったのかを考える。 ◆日清戦争に勝利した日本は大陸へ勢力をのばす足がかりをつかみ、これを警戒するロシアとの間で日露戦争が起こったこと。</p>	<p>①風刺画から、当時の東アジアの情勢を読み取る。 ②地図やグラフなどから、二つの戦争の様子や影響を調べる。 ③二つの戦争によって、日本と周りの国々との関係がどのように変わったのかを考える。</p>	
<p>日露戦争後の日本と世界 P190～191 【配時 1】</p>	<p>日露戦争の影響や朝鮮併合、条約の改正について調べ、日本と外国との関係の変化を多面的に捉える。</p>	<p>○日露戦争の影響や朝鮮併合の経緯を調べ、その意義について多面的に考えるとともに、不平等条約が改正された背景や理由を考える。 ◆日本が大きな犠牲を出しながらも日露戦争に勝利し、さらに朝鮮を併合したこと、日本が国力を向上させていく中で条約改正が達成されたこと。</p>	<p>①日露戦争が国内に与えた影響や、国民がそれをどう受け止めていたのかを調べる。 ②朝鮮併合の経緯を調べ、朝鮮の人々にとってどういう意味をもったのかを考える。 ③不平等条約が改正された背景や理由を考える。</p>	
<p>産業の発展と世界で活躍する人々 P192～193 【配時 1】</p>	<p>産業の発展や日本人の国際社会での活躍について調べ、日本の国力が充実したことや国際的な地位が向上したことを捉える。</p>	<p>○日本の産業がどのように発達していったのかを調べ、その影響について考える。 ◆産業の発展の一方で公害問題も発生したこと。日本人が国際社会で活躍するようになったこと。</p>	<p>①軽工業・重工業が発達し、生産力が向上したことをつかむ。 ②公害問題の発生について調べる。 ③日本人が国際社会で活躍するようになってきたことについて調べる。</p>	
<p>暮らしと社会の変化 P194～195 【配時 1】</p>	<p>暮らしの変化や権利を求め運動について調べ、社会が変化したことを捉える。</p>	<p>○女性運動や全国水平社、普通選挙運動について調べ、人々が求めている社会のあり方について考える。 ◆近代化の進展を背景に、民主的な社会を求めさまざまな運動が起こったこと。</p>	<p>①産業の変化に伴って、人々の暮らしも変化したことを調べる。 ②女性運動や全国水平社、普通選挙運動を通して、人々が何を求めているのかを調べる。 ③人々が求めている社会のあり方と民主主義の考え方について話し合う。</p>	
<p><まとめる> P196～197 【配時 1】</p>	<p>調べたことをまとめ、明治政府の政策による社会の変化や産業・科学の発展を捉え、条約改正の達成と関連付け、日本の国際的地位が向上したことを考え、表現する。</p>	<p>○学習してきた、条約改正に向けた明治政府の動きをまとめ、どのように条約改正が達成されたか考える。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②学習してきた条約改正が達成されるまでの出来事を年表にまとめる。 ③年表をもとに、どのように条約改正が達成されたのか話し合う。 ④大日本帝国憲法下での政治の仕組みや選挙権の拡大について確かめる。</p>	<p>※対話的な学習を想定しているため、まとめの時間であるが授業で行う。</p>

小単元 10	戦争と人々の暮らし	配当時間 7 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)</small>	教科書 6 P200～214
--------	-----------	--	---------------------------------

目 標

- 日本がかつて戦争をし、国内外に大きな被害を出したことについて理解するとともに、写真資料や遺跡、文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、写真資料や遺跡、文化財、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料で調べ、日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦の経緯や被害、戦争中の人々の暮らしを理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、日本がかつて戦争をし、国内外に大きな被害を出したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目し、問いを見出し、日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦について考え、表現している。 ・日中戦争や第二次世界大戦の経緯や被害、戦争中の人々の暮らしなどを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦の経緯や被害、戦争中の人々の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：10 戦争と人々の暮らし 【配当7時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>戦火に焼けた日本 P200～201 【配時 1】</p>	<p>空襲の被害を受けた東京のまちと現在の様子に着目し、戦争と人々の暮らしについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○東京大空襲の被害の様子を調べ、戦争とその時代の人々の暮らしに関心を持ち、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆空襲で多くの人々が犠牲になり、東京をはじめたくさんの都市が大きな被害を受けた戦争を日本が戦ったこと。</p>	<p>①東京大空襲の写真を見て気づいたことを話し合う。 ②東京大空襲での人的・物的な被害を調べる。 ③戦争とその時代について関心をもったことから学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	
<p>学習問題 日本が戦った戦争は、どのような戦争だったのだろう。 それによって、人々の暮らしはどうなったのだろう。</p>				
<p>中国との戦争が始まる P202～203 【配時 1】</p>	<p>満州国の建国や中国大陸で戦線が拡大していった経緯を調べ、日中戦争がどのようなものかを捉える。</p>	<p>○日本が中国大陸に進出し、中国との間で戦争が起こった経緯について調べる。 ◆日本が国内の不況を打開するために中国大陸に進出したことから、国際社会で孤立していき、最終的に、中国との戦争が始まったこと。</p>	<p>①日本が中国大陸に進出していった経緯や、満州に渡った人々がどのような暮らしをしていたのかを調べる。 ②満州国建国が国際社会の反感を買い、日本が孤立していったことを捉える。 ③中国大陸で戦線が広がり、戦いが長期化していったことを調べる。 ④日本と中国との戦争がどのようなものだったのかについて考え、まとめる。</p>	
<p>アジア・太平洋に広がる戦争 P204～205 【配時 1】</p>	<p>戦争が、アジア・太平洋の広い範囲に拡大していった経緯や背景を調べ、その影響を捉える。</p>	<p>○戦争がアジア・太平洋地域へと広がっていく経緯とその背景を調べ、日本の状況や他の地域に与えた影響について考える。 ◆日本がアメリカ・イギリスとも戦争を始め、戦域を広げていったこと。資源の不足と戦力の違いや、占領地で起こった抵抗運動によって、日本が徐々に追い込まれていったこと。</p>	<p>①年表と地図から、戦争がアジア・太平洋地域へと広がっていく経過を読み取る。 ②グラフから、日本とアメリカの航空機生産力の違いが何を意味するかを考える。 ③戦況の変化や占領した地域、植民地の人々に与えた影響について考える。</p>	

<p>戦争と人々の暮らし P206～207 【配時 1】</p>	<p>戦争中の暮らしの様子を調べ、戦争が人々の暮らしに与えた影響を捉える。</p>	<p>○戦争が人々の暮らしにどのような影響をあたえたのかを調べ、当時の人々の思いを考える。 ◆国が戦争をおし進めることに総力をあげていった結果、人々の暮らしが物心両面で大きな制約を受けるようになっていったこと。</p>	<p>①写真や年表から人々の暮らしの様子が変わっていったことを調べる。 ②戦争の状況が悪化するにしたがい、資源や物資が不足していったことをつかむ。 ③標語がつくられた理由と当時の人々の思いを考える。</p>	
<p>子どもたちと戦争 P208～209 【配時 1】</p>	<p>戦争中の子どもたちの暮らしの様子を調べ、戦争が子どもたちの暮らしに与えた影響を考え、表現する。</p>	<p>○戦争中の子どもたちの暮らしの様子を調べ、当時の子どもたちの思いや願いを考える。 ◆教科書や学校行事への戦争の影響が色濃くなり、戦争遂行のための教育が行われていたこと。</p>	<p>①戦争中の子どもたちの暮らしを予想する。 ②写真や当時の子供向けの発行物などから、戦争中の子どもたちの暮らしについて調べる。 ③戦争が子どもたちの暮らしにどのような影響を与えたのか話し合う。</p>	
<p>おそいかかる空襲 P210～211 【配時 1】</p>	<p>空襲による被害や日本各地に残る戦争遺跡を調べ、戦争によって国民が受けた被害の大きさを捉える。</p>	<p>○空襲の様子と被害の大きさについて調べ、戦争が国民生活に及ぼした影響について考える。 ◆アメリカ軍の圧倒的な航空力によって、日本各地が空襲を受け、大きな被害を受けたこと。</p>	<p>①写真から空襲の様子について捉え、空襲を受けた都市の被害について推測する。 ②日本各地での空襲の被害について調べる。 ③疎開体験者に話を聞いたり地域に残る戦争遺跡を調べたりして、国民が受けた被害について話し合う。</p>	
<p>沖縄・広島・長崎、そして敗戦 P212～213 ＜まとめ＞ P214 【配時 1】</p>	<p>沖縄戦や広島・長崎への原爆投下を調べ、大きな犠牲の上に戦争が終結したことを捉える。 また、調べたことをまとめ戦争によって国内外に大きな被害があったことを捉え、戦争と人々の暮らしの様子を関連付け、戦争の影響を考え、表現する。</p>	<p>○沖縄戦や広島・長崎の原爆被害について調べ、この戦争が大きな犠牲をはらって終わったことを理解し、戦争の学習から学んだことを表現する。 ◆沖縄戦、広島・長崎への原爆投下によって、多くの非戦闘員の命が奪われ、さらに、満州や権太などでも多くの人が犠牲になり、戦争が終結したこと。</p>	<p>①沖縄戦の様子と被害について調べる。 ②広島・長崎に投下された原爆による被害について調べる。 ③日本が敗戦を迎えるまでの経緯を調べ、戦争が国内外に大きな被害を出して終わったことをつかむ。 ④「まとめ」(P214)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習を振り返る。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、戦争による国内外の被害についてわかったことや、戦争と人々の暮らしの様子を関連付けて考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1/2 時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 11	平和で豊かな暮らしを目ざして	配当時間 8 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2.5 時間)</small>	教科書 6 P216～231
--------	----------------	--	---------------------------------

目 標

- 戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて理解するとともに、写真資料、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 戦後の日本の政治や社会の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 戦後の日本について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、写真資料、地図帳や地球儀、統計や年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ・調べたことを年表や図表などにまとめ、戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子に着目し、問いを見出し、戦後の日本の政治や社会について考え、表現している。 ・日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催と社会の変化を関連付けたり総合したりして、戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを考えたり、学習してきたことをもとに、歴史を学ぶ意味を考えたりして、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本の政治や社会について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習してきたことをもとに今日の自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事をもとに現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えようとしている。

小単元名：11 平和で豊かな暮らしを旨として 【配当6時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
焼けあとの出発 P216～219 【配時2】	戦争が終わった頃の暮らしの様子に着目し、戦後の新しい社会についての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○戦争が終わった頃の暮らしの様子を調べ、人々がどのような社会を旨としたのかを考えながら、学習問題をつくり、学習の計画を立てる。 ◆戦争が終わった頃の暮らしはとてつもないものであったこと、その中で人々は暮らしを立て直していったこと。	①写真から、戦争が終わった頃の様子を調べ、人々の暮らしを推測する。 ②戦争を体験した人の話などから、さらに調べたいことや疑問を出し合う。 ③戦後の社会や人々の暮らしについて、学習問題をつくる。	※P216～218（「おばあさんの話」まで）の内容について、家庭で読んでくることを説明する。 P216～218（「おばあさんの話」まで）の内容を読み、さらに調べたいことや疑問に感じたことをノートに書く。 【1時間】
学習問題 戦争のあと、人々はどのように暮らしを立て直し、今日の社会を築いていったのだろう。				
もう戦争はしない P220～221 【配時1】	日本国憲法の制定やさまざまな改革を調べ、日本が旨とした新しい社会のあり方について捉える。	○日本国憲法やさまざまな改革を調べ、戦後の日本が旨とした民主的な社会について考える。 ◆日本国憲法が制定され、国民主権の原則のもとで、平和で民主的な社会づくりが旨とされていったこと。	④学習問題に対する予想を出し合いながら、戦後の日本について調べていく見通しを立てる。	※学習問題や学習計画の設定については、対話的な学習を想定しているため、授業で行う。
日本の独立と東京オリンピック・パラリンピック P222～223 【配時1】	サンフランシスコ平和条約や東京オリンピック・パラリンピックの開催などを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を捉える。	○日本が独立を回復した経緯や東京オリンピック・パラリンピックが開催された経緯について調べ、これらのことが国内外に及ぼした影響について考える。 ◆終戦後7年目に日本が独立を回復し、国連にも加入して国際社会へ復帰したこと、その後、東京オリンピック・パラリンピックを開催するまでに国際社会での地位を向上させたこと。	①アメリカに占領されていた日本が独立を回復した経緯をつかむ。 ②東京オリンピック・パラリンピックが開催されるまでの経緯や資料から、当時の人々の思いについて調べる。 ③東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことの意味を考え、話し合う。	
産業の発展と国民生活の変化 P224～225 【配時1】	産業や経済の発展を調べ、社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを捉える。	○産業や経済の発展と人々の暮らしの向上をつなげて考え、経済成長がもたらした変化について理解する。 ◆日本の産業が急速に発展し、人々の暮らしが向上したこと。その一方で、公害の問題が起きたこと。	①産業や経済が急速に発展していった様子について調べる。 ②経済の発展によって人々の暮らしがどのように変化したのか調べる。 ③産業が発展していく一方で、公害の問題も起こったことをつかむ。	

<p>これからの日本とわたしたち P226～227</p> <p><まとめる> P228 【配時 1】</p>	<p>戦後の近隣諸国との関係や残された課題を調べ、国際社会の一員として友好や信頼の関係を築いていくことの大切さ捉える。</p> <p>また、調べたことをまとめ、戦後、さまざまな改革を行い、国際社会からの信頼を回復したことを捉え、戦後の日本の社会を考え、表現している。</p>	<p>○日本と近隣の国々やアメリカとの間に残された課題に目を向け、これからの社会のあり方について考える。</p> <p>◆日本と近隣の国々との間には、解決していかなければならない課題が残されていること。ともに発展していくために、平和で友好的な関係を築いていくことが重要であること。</p>	<p>①日本と近隣の国々やアメリカとの結びつきについて調べる。</p> <p>②日本と近隣の国々やアメリカとの間に残された課題について調べる。</p> <p>③今日の社会が築かれてきた経緯をふり返り、これからの社会のあり方について考え、話し合う。</p> <p>④「まとめる」(P228)も活用して、本単元の学習をまとめ、学習を振り返る。</p>	<p>※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、④の学習活動について説明をする。</p> <p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、戦後の日本の諸改革や国際社会への復帰についてわかったことや、日本の発展について考えたことを教科書の空欄やノートに書く。</p> <p>【1/2時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
---	---	--	---	--

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p><つなげる> 歴史を学ぶ意味を考えよう P230～231 【配時 2】</p>	<p>歴史の学習から学んだことと自分たちの暮らしや現在の社会とのつながりを考え、今後、自分が大切にしていきたいことを意見文にまとめる。</p>	<p>○歴史上の人物や出来事から学んだことをもとに、自分の考えを意見文にまとめる。</p> <p>◆歴史から学んだことと自分たちの暮らしとのつながりを考え、歴史上の人物やできごとを今後の自分たちや社会のあり方に生かすことができること。</p>	<p>①ノートや作品などから、これまで学習してきたことを振り返り、選挙権の拡大を例に歴史上の出来事と自分たちの暮らしや現在の社会とのつながりについて話し合う。</p> <p>③歴史上の人物や出来事から学んだことをもとに、大切だと思うことや自分の考えをメモにまとめる。</p> <p>④メモをもとに意見文を仕上げる。</p>	<p>※P230を読み、歴史で学んだことをどのように生かしていけるかを話し合い、その話し合いをとおして考えたことをもとに、各自が「意見文」を書くことや、その書き方について説明する。</p> <p>歴史の学習から学んだことと自分たちの暮らしや現在の社会とのつながりを考え、今後、自分が大切にしていきたいことを意見文にまとめる。【1時間】</p> <p>※各自がまとめた「意見文」を提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

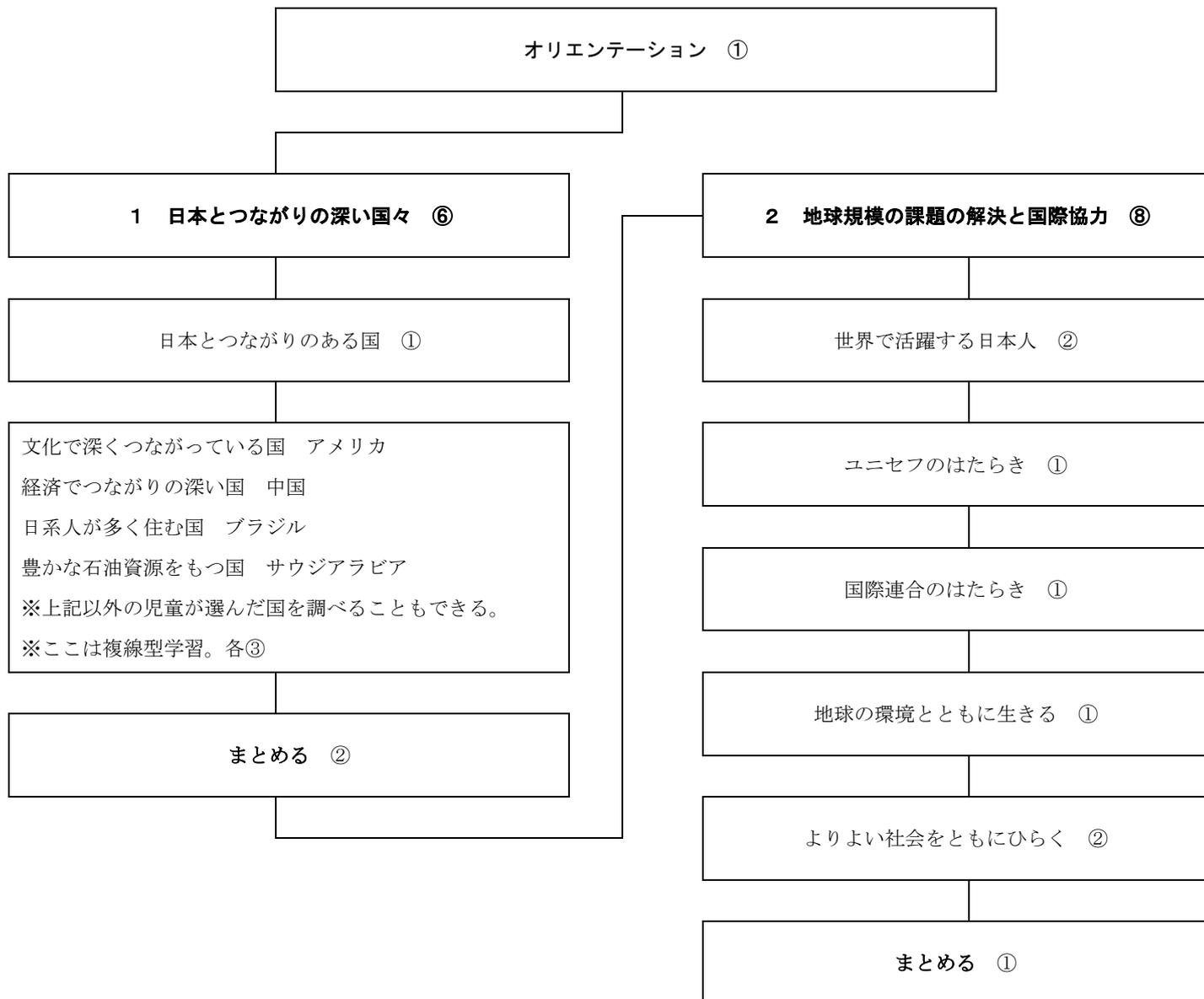
大単元 3	世界の中の日本	配当時間 15 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 6 時間)</small>	教科書 6 P232～271
-------	---------	---	---------------------------------

目 標

- 日本と関係の深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 日本と関係の深い国の人々の生活の特色、グローバル化する国際社会における日本の役割、相互の関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本と関係の深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 ・日本は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。 ・地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。 ・地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とつながりの深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



○の中の数字は、配當時数。

小単元 1	日本とつながりの深い国々	配当時間 6時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)</small>	教科書 6 P232～253
-------	--------------	---	---------------------------------

目 標

- 日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であること、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 日本と関係の深い国の生活の特色や相互の関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本と関係の深い国の人々の生活や国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々の暮らしの様子について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。 ・調べたことを図表やポスター、パンフレットなどの作品にまとめ、日本とつながりが深い国の人々の暮らしは多様であること、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いを考え、表現している。 ・日本とつながりの深い国の人々の暮らしや文化を比較したり関連づけたら、総合したりして、国際交流の果たす役割や、異なる文化や習慣を尊重しあう大切さを考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とつながりの深い国の人々の生活について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名：3 世界の中の日本

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>オリエンテーション 日本と世界 P232～233 【配時 1】</p>	<p>オリンピック・パラリンピックの写真から、生活習慣や文化の異なる世界の国々と日本のつながりを考え、表現する。また、国旗と国歌の意義を捉え、尊重する態度を養う。</p>	<p>○写真や地図をもとに知っている国を確認し合い、それらの国と日本や自分とのつながりについて、調べてみたいことを話し合う。 ◆世界にはさまざまな国があり、生活習慣や文化などに違いがあること。各国に国旗と国歌があり、その国の象徴として大切にされていること。</p>	<p>①オリンピック・パラリンピックの写真をもとに世界にはさまざまな国があることに気づく。 ②写真や文章をもとに、それぞれの国に国旗と国歌があり、その国の象徴として大切にされていることを捉える。 ③地図帳や地球儀を使って知っている国の位置や日本からの距離・方角を確認し、気づいたことを発表し合う。 ④それらの国と日本や自分とのつながりについて、調べてみたいことを話し合う。</p>	

小単元名：1 日本とつながりの深い国々 【配当6時間】

※「アメリカ」「中国」「ブラジル」「サウジアラビア」の中から、児童が一国を選択

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>日本とつながりのある国 P234～235 【配時1】</p>	<p>身のまわりの品物や統計資料に着目して、自分なりの根拠をもって調べる国を決め、外国と日本のつながりや人々の暮らしについて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○身近な生活やこれまで学習してきたことの中から外国とのつながりを探し、日本とつながりの深い国の人々の暮らしについて調べる学習問題をつくり、自分の興味・関心に基づいて調べる国を決め、学習計画を立てる。 ◆日本は、ものや人の行き来や文化交流などを通して、世界のさまざまな国とつながりをもっていること。</p>	<p>①身近な生活やこれまで学習してきたことの中から日本と外国のつながりを探し、発表し合う。 ②日本とつながりの深い国々について調べる学習問題をつくる。 ③自分なりの根拠をもって調べる国を決め、何についてどのように調べるか、学習計画を立てる。</p>	
<p>学習問題 日本とつながりの深い国の人々は、どのような暮らしをしているのだろうか。</p>				
<p><選択> 文化で深くつながっている国 アメリカ P236～239 【配時3】</p>	<p>日本とアメリカのつながりや人々の生活の様子を調べ、日本との違いやアメリカの特色、人々の暮らしの様子を捉える。</p>	<p>○日本とアメリカのつながりに関して、本や統計資料などを活用して、さまざまな観点から調べ、日本との相違点・共通点、日本とのつながりについて考える。 ◆アメリカの人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣をもつ人々と互いに協調していくことの大切さ。</p>	<p>①アメリカについての基本的事項を地図帳などの資料から確認する。 ②日本とアメリカの文化のつながりを調べ、その特色を考える。 ③地図帳や図書館の事典、インターネットなどからアメリカの産業や国土、人々の生活の様子、日本との交流について調べる。 ④調べたことをまとめ、アメリカと日本のつながりやこれからの関係のあり方について考える。</p>	<p>※選んだ国について、前時に立てた学習計画をもとに、授業で学校の図書館を利用するなどして必要な資料を集めさせる。 ※選んだ国について各自で調べること、P252をもとに作品や表にまとめること、それを持ち寄って発表し合うことについて説明をする。 選んだ国について、学校の図書館で集めた資料を読み取ったり、新聞やインターネットなどで情報を集めたりして調べ、作品や表にまとめる。【2時間】</p>

<p><選択> 経済でつながりの深い国 中国 P240～243 【配時 3】</p>	<p>日本と中国のつながりや人々の生活の様子を調べ、日本との違いや中国の特色、人々の暮らしの様子を捉える。</p>	<p>○日本と中国のつながりについて、本や統計資料などを活用して、さまざまな観点から調べ、日本との相違点・共通点、日本とのつながりについて考える。 ◆中国の人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣をもつ人々と互いに協調していくことの大切さ。</p>	<p>①中国についての基本的事項を地図帳などの資料から確認する。 ②日本と中国の貿易の様子や経済のつながりを調べ、その特色を考える。 ③地図帳や図書館の事典、インターネットなどから日本と中国の歴史的なつながり、中国の人々の生活の様子、日本との交流について調べる。 ④調べたことをまとめ、中国と日本のつながりやこれからの関係のあり方について考える。</p>	<p>※選んだ国について、前時に立てた学習計画をもとに、授業で学校の図書館を利用するなどして必要な資料を集めさせる。</p> <p>※選んだ国について各自で調べること、P252をもとに作品や表にまとめること、それを持ち寄って発表し合うことについて説明をする。</p> <p>選んだ国について、学校の図書館で集めた資料を読み取ったり、新聞やインターネットなどで情報を集めたりして調べ、作品や表にまとめる。【2時間】</p>
<p><選択> 日系人が多く住む国 ブラジル P244～247 【配時 3】</p>	<p>日本とブラジルのつながりや人々の生活の様子を調べ、日本との違いやブラジルの特色、人々の暮らしの様子を捉える。</p>	<p>○日本とブラジルのつながりについて、本や統計資料などを活用して、さまざまな観点から調べ、日本との相違点・共通点、日本とのつながりについて考える。 ◆ブラジルの人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣をもつ人々と互いに協調していくことの大切さ。</p>	<p>①ブラジルについての基本的事項を地図帳などの資料から確認する。 ②日本とブラジルの歴史的なつながりを調べ、その特色を考える。 ③地図帳や統計資料、図書館の本などからブラジルの人々の生活の様子や日本との交流について調べる。 ④調べたことをまとめ、ブラジルと日本のつながりやこれからの関係のあり方について考える。</p>	<p>※選んだ国について、前時に立てた学習計画をもとに、授業で学校の図書館を利用するなどして必要な資料を集めさせる。</p> <p>※選んだ国について各自で調べること、P252をもとに作品や表にまとめること、それを持ち寄って発表し合うことについて説明をする。</p> <p>選んだ国について、学校の図書館で集めた資料を読み取ったり、新聞やインターネットなどで情報を集めたりして調べ、作品や表にまとめる。【2時間】</p>

<p><選択> 豊かな石油資源をもつ国 サウジアラビア P248～251 【配時 3】</p>	<p>日本とサウジアラビアのつながりや人々の生活の様子を調べ、日本との違いやサウジアラビアの特色、人々の暮らしの様子を捉える。</p>	<p>○日本とサウジアラビアのつながりについて、本や統計資料などを活用して、さまざまな観点から調べ、日本との相違点・共通点、日本とのつながりについて考える。 ◆サウジアラビアの人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣をもつ人々と互いに協調していくことの大切さ。</p>	<p>①サウジアラビアについての基本的事項を地図帳などの資料から確認する。 ②地図帳や統計資料、まちなみの写真などからサウジアラビアの産業や国土の様子について調べる。 ③大使館のホームページなどから、サウジアラビアの人々の暮らしや宗教、日本との交流について調べる。 ④調べたことをまとめ、サウジアラビアと日本のつながりやこれからの関係のあり方について考える。</p>	<p>※選んだ国について、前時に立てた学習計画をもとに、授業で学校の図書館を利用するなどして必要な資料を集めさせる。</p> <p>※選んだ国について各自で調べることを、P252をもとに作品や表にまとめること、それを持ち寄って発表し合うことについて説明をする。</p> <p>選んだ国について、学校の図書館で集めた資料を読み取ったり、新聞やインターネットなどで情報を集めたりして調べ、作品や表にまとめる。【2時間】</p>
<p><まとめる> P252～253 【配時 2】</p>	<p>調べたことを発表し、日本はさまざまな国とつながりをもっていて、世界の国の人々の生活や文化は多様であることを捉え、互いの文化や生活習慣を尊重することの大切さを考え、表現する。</p>	<p>○それぞれが調べたことを発表し合って、学習の成果を共有し、日本との相違点や共通点、日本と外国とのつながりについて理解を深める。 ◆日本とつながりの深い国々の人々の生活、文化や習慣、国土の特徴、日本とのつながり、異なる文化や習慣を尊重し、互いに協調していくことの大切さ。</p>	<p>①学習問題を確かめる。 ②調べたことをポスターセッション形式で発表し、学習成果を共有する。 ③感想や疑問、意見を出し合いながら、世界の国々と日本とのつながりや調べた国々と日本との違いについて考える。</p>	<p>※①～③の学習活動を踏まえて、世界の国の人々が互いの文化や生活習慣を尊重することの大切さについて考え、ノートに書いてくることを説明する。</p> <p>世界の国の人々が互いの文化や生活習慣を尊重することの大切さについて考え、ノートに書く。【1時間】</p> <p>※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 2	地球規模の課題の解決と国際協力	配当時間 8 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)</small>	教科書 6 P256～271
-------	-----------------	--	---------------------------------

目 標

- グローバル化する国際社会における日本の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 国際社会における日本の役割や国の相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや日本の国際協力の様子を理解している。 ・ 調べたことを文などにまとめ日本が平和な世界の実現のために重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見出し、国際連合の働きや日本の国際協力の意義を考え、表現している。 ・ 地球規模で発生している課題と日本が国際社会の一員として行っている協力・援助を関連づけたり、総合したりして、国際社会において日本が果たしている役割を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の国際社会における役割について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・ よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>世界で活躍する日本人 P256～259 【配時2】</p>	<p>世界で活躍する日本人の活動に着目して、世界の課題を解決するために、日本人々がどのように取りくんでいるかについての学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。</p>	<p>○平和や環境を守るために、世界各地で日本人がどのような活動をしているのかを調べ、日本の国際貢献について学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆人々の健康や生命を守ったり、暮らしを向上させたりするために、日本をはじめ世界各国が協力し合っていること。</p>	<p>①世界で活躍する日本人の活動を調べ、感想を話し合う。 ②世界でどのような問題が起きているのか調べる。 ③世界の平和や環境を守るために、どのような取り組みが行われているのかについて学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p>	<p>※各自がP256～258を読んで中村さんやペシャワール会の活動の概要や、自分なりに感じたこと考えたことをノートに書いてくることを説明する。 P256～258を読み、中村さんやペシャワール会の活動の概要や、自分なりに感じたこと考えたことをノートに書く。【1時間】 ※学習問題や学習計画の設定については、対話的な学習を想定しているため、授業で行う。</p>
<p>学習問題 世界の平和や環境を守る取り組みに、 日本人々はどのように関わっているのだろう。</p>				
<p>ユニセフのはたらき P260～261 【配時1】</p>	<p>すべての子どもの命や権利を守るための取り組みを調べ、その重要性や、国際協力の必要性を捉える。</p>	<p>○世界の子どもたちの健康や安全を守るユニセフのはたらきについて調べる。 ◆ユニセフが、世界の子どもたちの健康や安全を守る活動を行っていること。子どもたちの健康や安全を守るためには、国際協力が必要であること。</p>	<p>①写真や資料から、世界の子どもたちがおかれている状況について調べる。 ②子どもたちの健康と安全を守るユニセフの活動について調べる。 ③ユニセフの役割と自分たちとのつながりについて話し合い、自分たちが協力できることについて考える。</p>	
<p>国際連合のはたらき P262～263 【配時1】</p>	<p>紛争の防止・解決のための取り組みを調べ、その重要性や、国際協力の必要性、日本の果たしている役割を捉える。</p>	<p>○世界の人々の平和と安全を守る国際連合の働きについて調べる。 ◆世界の平和と安全を守るためには国際的な協力が必要であり、その中で日本も重要な役割を果たしていること。</p>	<p>①世界で起きている紛争・戦争について調べる。 ②世界の平和を守るための国際連合の活動について調べる。 ③国際連合のはたらきと日本が果たしている役割について話し合う。</p>	

<p>地球の環境と ともに生きる P264～265 【配時 1】</p>	<p>地球環境をめぐるさまざまな問題を調べ、その解決に向けての国際協力の必要性や、持続可能な社会をみざすことの重要性を捉える。</p>	<p>○地球環境を守りながら、持続可能な社会をみざしていくために、世界の人々が協力して取り組んでいる事例について調べる。 ◆地球環境を守るためには、世界各国が協力して取り組まなければならないことや、持続可能な社会をみざしていくことが必要であること。</p>	<p>①世界で起きている環境問題について調べる。 ②さまざまな環境問題を解決するための取り組みについて調べる。 ③地球環境を守ることの大切さや、自分たちの暮らしとのかわりについて話し合う。</p>	<p>※各自が P266～267 を読み、感じたこと考えたことをノートに書いて持ち寄ることを説明する。</p>
<p>よりよい社会を ともにひらく P266～267 【配時 2】</p>	<p>地球規模の諸課題を解決するための取り組みを調べ、すべての人の人権が尊重され、誰もが安心して生き生きと暮らすことのできる社会の実現に向けて、国際社会の一員として協力することが大切であることを考え、表現する。</p>	<p>○現代に残されている課題に目を向けながら、国際社会の一員として何を大切にしていけばか話し合う。 ◆地球規模の諸課題を解決するために、異なる文化をもつ人々と国境をこえてともに助け合う必要があること。</p>	<p>①水不足の問題をはじめとして世界各地で起きている課題について調べる。 ②異なる文化をもつ人々と国境をこえてともに助け合う必要があることをつかむ。 ③国際社会の中で、互いを尊重し合いながら、だれもが安心して生き生きと暮らすことのできる社会を実現するためには、何が大切なのか考える。</p>	<p>P266～267 を読み、感じたこと考えたことをノートに書く。【1時間】 ※③の学習活動については対話的な学習を想定しているため、持ち寄ったノートをもとに授業で行う。 ※学習のまとめ方について、なにをもとに、どのように行うのか、次時(①～③)の学習活動について説明をする。</p>
<p><まとめる> P270～271 【配時 1】</p>	<p>地球規模で発生している課題の解決に向けた活動について調べたことをまとめ、世界の平和や環境を守るために協力することの大切さを捉え、国際社会の一員として自分はどうのよう行動をしていけばか考える。</p>	<p>○学習を振り返り、誰もが安心して生き生きと暮らせる世界の実現に向けて、これから実行したいことを考え、表現する。 ◆国際社会の一員として、日本人が、経験や知識・技術をよりよい社会づくりのために役立てていることや、限りある資源を有効に使いながら社会を発展させていくためにできることが、自分たちの暮らしの中にもあること。</p>	<p>①学習問題とキーワードを確かめる。 ②世界の平和や環境を守るために活動している組織や日本人についてまとめる。 ③国際連合の「持続可能な快活目標」に示された 17 の項目をもとに、だれもが安心して生き生きと暮らせる世界の実現に向けて、自分が実行したいことを理由とともに発表する。</p>	<p>教科書やノートを見ながら、学習をふり返り、世界の平和や環境を守るために協力して取り組まれていることについてわかったことや、国際社会の一員として自分はどうのよう行動していくべきかについて考えたことを教科書の空欄やノートに書く。 【1時間】 ※各自まとめたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>